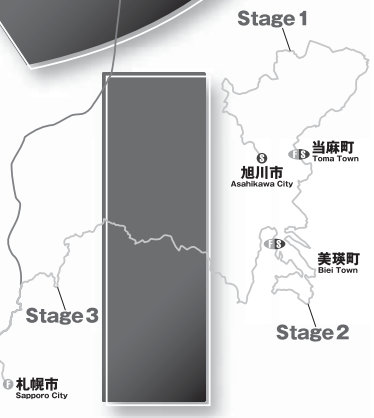
ツール・ド・北海道



TOUR DE HOKKAIDO

2012

SINCE 1987

9.15sat

▶▶▶17mon

ツール・ド・北海道2012　事業報告

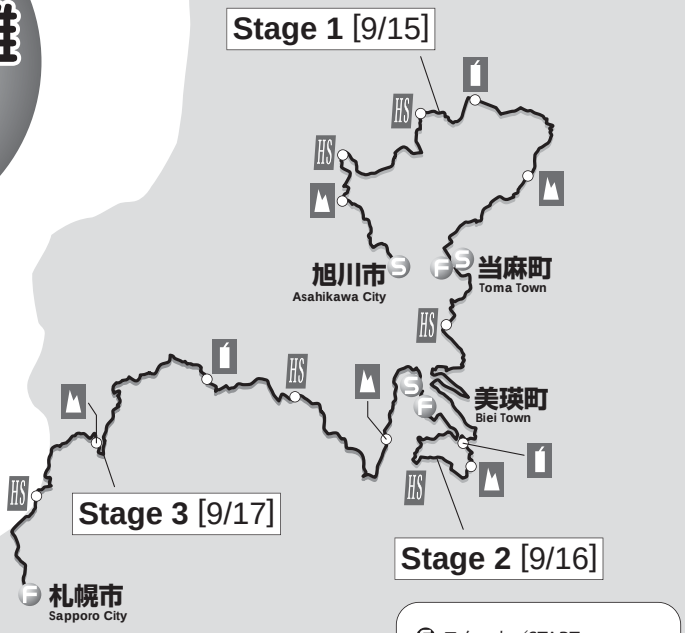
2012 RACE REPORT

2012 Course Layout

2012 コースレイアウト

総走行距離 516km

2012 AREA



Ⓢ スタート／START
Ⓕ フィニッシュ／FINISH
HS ホットスポット／HOT SPOT
山岳ポイント／KING OF MOUNTAINS
補給所／FEED ZONE

■ 9月15日(土)開会式
会場　旭川市　春光台公園特設会場　<9:00～9:20>

[競技日程]
■ 9月15日(土)第1ステージ　159Km(ロードレース)　旭川市～当麻町
スタート：旭川市　春光台公園　<9:45>
フィニッシュ：当麻町　当麻町役場前　<13:37>
■ 9月16日(日)第2ステージ　159Km(ロードレース)　当麻町～美瑛町
スタート：当麻町　当麻町役場前　<9:20>
フィニッシュ：美瑛町　丸山公園　<13:11>
■ 9月17日(月・祝)第3ステージ　198Km(ロードレース)美瑛町～札幌市
スタート：美瑛町　丸山公園　<9:30>
フィニッシュ：札幌市　モエレ沼公園テトラマウンド前<14:22>
■ 9月17日(月・祝)最終表彰式　札幌市モエレ沼公園特設会場<15:40>

[市民レース日程]
■ 9月15日(土)　1.2Km(タイムトライアル)美瑛町
スタート：美瑛町丸山公園特設コース　<12:00>
フィニッシュ：美瑛町丸山公園特設コース　<15:00>
■ 9月16日(日)
○ 107Km(ロードレースAコース)当麻町～美瑛町
スタート：当麻町役場前　<9:25>
フィニッシュ：美瑛町丸山公園　<12:15>
○ 87Km(ロードレースBコース)東川町～美瑛町
スタート：東川町役場前　<10:05>
フィニッシュ：美瑛町丸山公園　<12:26>
○ 62Km(ロードレースCコース)美瑛町～美瑛町
スタート：美瑛町聖台公園　<10:55>
フィニッシュ：美瑛町丸山公園　<12:44>
■ 9月17日(月・祝)
33Km(2.2Km×15周)、22Km(2.2Km×10周)、11Km(2.2Km×5周)、4.4Km、2.2Km、150m
(クリテリウム)　札幌市
スタート：札幌市モエレ沼公園特設コース　< 9:00>
フィニッシュ：札幌市モエレ沼公園特設コース　<12:45>

ツール・ド・北海道2012は、今年で26回を迎え、9月15日(土)から17日(月・祝)までの3日間、道北及び道央地域を中心に開催された。

大会初日の第1ステージは、旭川市からスタート、上川管内の鷹栖町、剣淵町、士別市、愛別町等を経て当麻町でフィニッシュする159kmのコース、そして第2ステージは、前日のフイニッシュ地点である当麻町からスタート、大雪山国立公園、標高1,000mを超える十勝岳から上富良野町を経て美瑛町でフイニッシュする159Kmのコース、最終日の第3ステージは、同じく美瑛町からスタートし、上富良野町、中富良野町、芦別市、赤平市等を経て石狩市から札幌市モエレ沼公園でフィニッシュする198Kmのコースで、大会期間中の総走行距離約516Kmのロードレース競技である。

また、今回は同じ宿泊先でフィニッシュ地点とスタート地点を同一にすることによって、選手、競技関係者の移動に配慮するなど、評判の良いコース設定となった。

そして、今年も広大な北海道の自然環境の中で、大雪山国立公園十勝岳山麓の急峻な山岳ポイント等、どのステージを見ても選手の実力が明らかになる極めて厳しいコースを設定した。

また、参加チームは、海外、国内登録、学生の合計19チーム95名の選手が参加した。

●お問い合わせ先
〒060−0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第2道通ビル5階
財団法人ツール・ド・北海道協会
電話(011)222-5922　ファックス(011)232-4604
http//www.tour-de-hokkaido.or.jp
E-mail tourde-h@spice.ocn.ne.jp

ツール・ド・北海道2012　事業報告書

●大会概要

1.事業開始	2012年5月18日（金）　札幌市中央区北2条西7丁目「かでる2・7」において、「ツール・ド・北海道2012」実行委員会を開催											
2.事前会議	2012年9月14日（金）　役員打合せ会議、参加チーム受付、ライセンスコントロール、監督会議、審判合同会議、部門別会議、報道会議、ドライバーズ・ミーティング、アンチドーピング会議											
3.大会期間	第26回　2012年9月15日（金）～9月17日（月・祝）　3日間											
4.ステージレース	日程	日程	競技	経路・会場	距離（km）	道路別距離（km）						
		9月15日（土）	第1ステージ（ロードレース）	旭川市～当麻町	159	国道／101.8						
		9月16日（日）	第2ステージ（ロードレース）	当麻町～美瑛町	159	道道／333.6						
		9月17日（月・祝）	第3ステージ（ロードレース）	美瑛町～札幌市	198	市町村道／79.9　その他／0.5						
	参加チーム	海外チーム	ジェリーベリー・サイクリング（アメリカ）、ヴェロクラブ メンドリシオ（スイス）、OCBシンガポール・コンチネンタルサイクリングチーム（シンガポール）、ウズベキスタンナショナルチーム（ウズベキスタン）									
		国内チーム	キャノンデール・スペースゼロポイント、ブリヂストンアンカーサイクリングチーム、宇都宮ブリッツェン、シマノレーシングチーム、マトリックスパワータグ、チームNIPPO、チーム右京、パールイズミ・スミタ・ラバネロ、シェルヴォ奈良プロサイクリングチーム、北海道地域選抜、京都産業大学、中央大学、順天堂大学、日本大学、鹿屋体育大学									
	● 選手95名											

5.市民レース	日程・参加者数	日程	競技	経路・会場	距離（km）	申込者数（人）			参加者数（人）			
		9月15日（土）	市民タイムトライアル	美瑛町	1.2	336			307			
		9月16日（日）	市民ロードレース Aコース	当麻町～美瑛町	107	147			138			
			市民ロードレース Bコース	東川町～美瑛町	87	220	539	1,320	195	480	1,186	
			市民ロードレース Cコース	美瑛町～美瑛町	62	172			147			
		9月17日（月・祝）	市民クリテリウム	札幌市	2.2～33	445			399			

6.関係市町村	総数	22市町（8市14町）
	地元賞等	当麻町、美瑛町、札幌市
	郷土芸能等	剣淵町(ジュニアチアリーディングクラブ、剣淵屯田太鼓)・石狩市(心叫太鼓)
7.関係者	役員	大会役員 65名、実行委員 83名、競技役員 175名　　計 323名
	交通整理等	警察官 170名、警備員 388名、コース整理員 1,023名　　計 1,581名
8.広報・安全関係	広報対策	ポスター 6,000枚（大1,000枚）規制チラシ4,500枚、新聞（北海道新聞、読売、朝日、その他）、日本道路交通情報センター、各種スポーツ雑誌 テレビ放送　HTB（全道）10/6（土）、BS朝日（全国）10/8（月・祝）、ホームページ
	安全対策	交通規制・競技看板353枚、セィフティーコン1,442本、バリケード940m
9.観衆人員（概数）	32,100人	
10.印刷物等	ガイドブック 10,000部、テクニカルガイド 500部、事業報告650部	
	宿泊施設数5か所、車両使用台数105台（2輪車15台）、ステージ数／3ステージ	
11.まとめ	「ツール・ド・北海道2012」は、今年で26回を迎え、道北及び道央を中心に9月15日（土）から17日（月・祝）までの3日間のロードレースを開催した。 大会初日の第1ステージは、旭川市からスタート、上川管内の鷹栖町、剣淵町等を経て当麻町までの159Km、そして第2ステージは、当麻町からスタート、大雪山国立公園標高1、000mを超える十勝岳連峰を経て、美瑛町までの159Kmのコース、最終日の第3ステージは、同じく美瑛町からスタートし、上富良野町、新十津川町等を経て石狩市からモエレ沼公園に入る198Kmのコースをそれぞれ設定した。参加チームは海外、国内登録、学生の合計19チーム95名が参加した。一方、市民レースにおいても、年々と参加者が増え、他府県からの参加者も増加するなど、わが国のサイクルスポーツの普及・振興に大きく寄与、貢献する効果があった。	

●収支予算書・決算書

（収入の部）　　（単位:千円）

科目	予算	決算（概算）	備考
1. 補助金等収入	700	700	市・町
2. JKA補助金収入	36,000	35,880	（財）JKA
3. スポーツ振興補助金収入	2,505	2,260	（独）日本スポーツ振興センター
4. 寄付金等収入	24,240	20,110	一般寄付金等
5. 協賛金収入	11,300	21,105	
6. 参加料収入	6,095	7,125	
7. 基本財産運用収入	3,350	160	
8. 雑収入	0	518	
9. 前年度繰越	7,824	0	
合計	92,014	87,858	

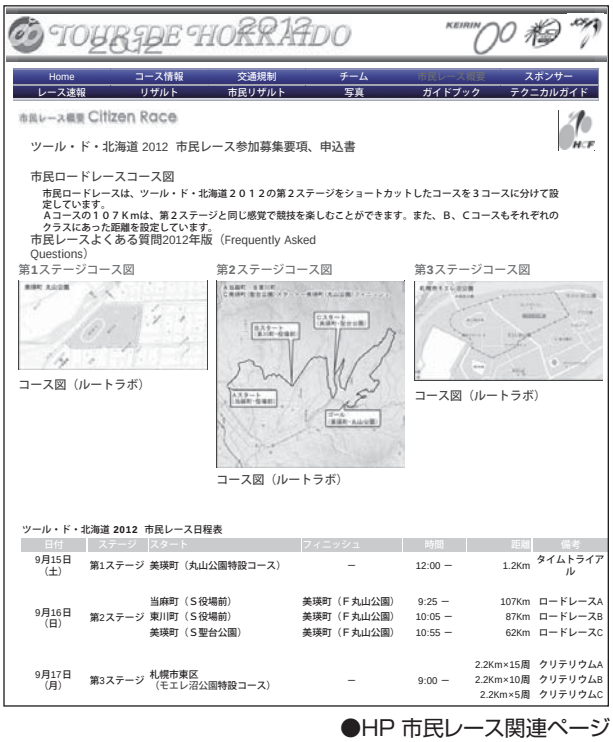
（支出の部）　　（単位:千円）

科目	予算	決算（概算）	備考
1. 大会運営費	21,613	21,399	設営費、式典費、事務費等
2. 広報費	17,514	15,929	TV撮影費、新聞広告費、ポスター費等
3. 競技運営費	38,217	37,036	参加チーム旅費、車両等機材借上等
4. 警備救護費	14,670	13,494	交通規制標識、医師等派遣費 警備員費等
合計	92,014	87,858	

ツール・ド・北海道2012　報道・広報-1

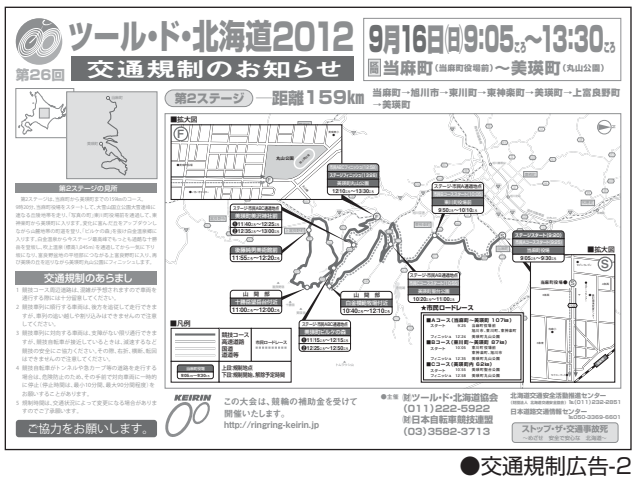
●ポスター

●HP トップページ



●HP 市民レース関連ページ

●交通規制広告-1



●交通規制広告-2

●交通規制広告-3

北　海　道　新　聞

2012年（平成24年）5月19日（土曜日）

ツール・ド・北海道9月15日開幕

道北と道央22市町疾走

国内最大級のロードレース、ツール・ド・北海道2012（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）の日程とコースが18日、発表された。26回目の今年は、9月15日から3日間で道北と道央の計22市町を舞台に熱戦を繰り広げる。

道北コースは8度目。ロードレースのみの全3ステージで、15日に旭川市で行われる開会式に続き、十勝岳や上川管内美瑛町の丘陵地帯など約516キロを走り抜ける。出場は20チームで、国内15チーム、海外5チームの予定。

また、一般競技者が参加できる市民レースは15日から3日間行われ、6月18日から7月31日まで申し込みを受け付ける。

大会の日程とコースは次の通り。

▽9月15日　第1ステージ159キロ（旭川市―上川管内当麻町）▽16日　第2ステージ159キロ（当麻町―同管内美瑛町）▽17日　第3ステージ198キロ（美瑛町―札幌市）

●5/19　北海道新聞

北　海　道　通　信

平成24年　7月　2日　【月曜日】

ツール・ド・北海道2012

9月15～17日に熱戦再び

道北・道央22市町で、総走行距離516km

国際自転車競技連合（UCI）公認自転車ロードレースで、国内で唯一、大自然の中を町から町へ公道を使用して巡る本格的ステージレース「ツール・ド・北海道2012」が、九月十五日から十七日までの三日間、道北・道央圏の二十二市町管内で開かれる。

総走行距離は国道・道道を中心に約五百十六㌔㍍。多くの一般サイクリストが参加する市民レースも同時開催する。

ツール・ド・北海道は、世界最大の自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」を目指し、日本初のステージレースとして一九八七年に開幕した。

二十六回目を迎える今回は、九月十五日旭川市春光台公園特設会場で開会式を実施。

ステージレースの日程は、第一ステージ（ロードレース）が九月十五日。旭川市～当麻町間の約百五十九㌔㍍。第二ステージ（同）は九月十六日。当麻町～美瑛町の約百五十九㌔㍍。第三ステージ（同）は九月十七日。美瑛町～札幌市の約百九十八㌔㍍で行われる。

一方、市民レースは、市民タイムトライアルが九月十五日、美瑛町丸山公園周辺特設コースで開かれる（一・二㌔㍍）ほか、市民ロードレースが九月十六日に。Aコースは当麻町～美瑛町約百七㌔㍍、Bコースは東川町～美瑛町約八十七㌔㍍、Cコースは美瑛町内約五十二㌔㍍で行われる。

また、市民クリテリウムが九月十七日、札幌市モエレ沼公園特設コース（二・二～三十三㌔㍍）で行われる。

詳しくは㈶ツール・ド・北海道協会（札幌市中央区北五条西六丁目一ー二三第二道通ビル五階、電話〇一一ー二二二ー五九二二）まで。

●7/2　北海道通信

朝　日　新　聞

2012年（平成24年）8月28日　火曜日

旭川―札幌 銀輪つなぐ

ツール・ド・北海道 来月15日開幕

516キロ、20チーム疾走

国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」は9月15～17日、旭川市―札幌市のコースで開かれる。26回目の今年は海外からの5チームを含め計20チームが参加予定。3日間で計516キロを走る。一般参加の「市民レース」も行われる。

今年の特徴は、旭川市のスタートから札幌市のゴールまで計22市町村をまたぐ三つのステージのコースが、1本の線になることだ。例年は各ステージごとにコースが離れていたが、今回は宿泊拠点を旭川市とし、各ステージのゴール地点が翌日のスタート地点となる。ツール・ド・北海道協会によると初めての試みだという。

第1ステージは15日に旭川市の春光台公園をスタート。和寒町、剣淵町の田園地帯や、於鬼頭峠（標高約610㍍）などを通って当麻町役場までの約159キロを走る。

当麻町役場から始まる第2ステージも約159キロ。標高1000㍍を超す吹上温泉を通過するアップダウンの多いコースで、美瑛町の丸山公園を目指す。

第3ステージは丸山公園から今大会最長の約198キロ。砂川市、滝川市などを抜け、石狩市の海岸線を通って最終ゴールの札幌市・モエレ沼公園までを競う。

市民レースは15日が丸山公園周辺の特設コース（1・2キロ）での個人タイムトライアル。16日は丸山公園がゴールの最長107キロのロードレース。17日はモエレ沼公園の特設コース（2・2キロ）を周回するクリテリウムを行う。

スポーツ

●8/28　朝日新聞

ツール・ド・北海道2012　報道・広報-3

●9/13　北海道新聞

●9/14　朝日新聞

●9/14　読売新聞

北海道新聞　2012年（平成24年）9月13日（木曜日）

ツール・ド・北海道 15日号砲

初秋の516キロ 疾走

国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2012」が15日、開幕する。旭川市をスタートし、上川と空知、石狩の各管内を経て、札幌市のゴールまで22市町、計516キロのコースを三つのステージに分けて行う。26度目となる今年は、昨年より1日短縮され、3日間の開催となる。道外の実業団や大学、海外チームのほか北海道選抜がしのぎを削るレースで、今年はどんなドラマが生まれるのだろうか。

（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）

昨年の表彰式。後列が団体総合時間賞を獲得したNIPPO（2011年9月19日、札幌市）

個人・団体賞

個人と団体で計5タイトルを争う。個人は総合時間、総合ポイント、総合山岳、U23の四つで、団体は総合時間のみ。大会最高の栄誉とされるのは個人総合時間で、1位には「北海道カップ」が贈られる。各ステージ終了時点の個人部門首位の選手は、翌日のステージで、部門ごとに異なる色のリーダージャージーを着用する。各部門の内容は次の通り。

【個人】

◇総合時間賞（リーダージャージー＝緑）

各ステージ完走タイムの合計から、ペナルティーやボーナスを加減した時間を競う。ボーナスは、各ステージの上位3人と、ステージの途中に設けられたホットスポットの上位通過3人にそれぞれ与えられる。

◇総合ポイント賞（同＝青）

ホットスポットの通過順位による得点と、各ステージのゴール順位による得点の合計点を競う。

◇総合山岳賞（同＝赤）

各ステージの山岳路の頂上付近に設けられた山岳ポイントの通過順位に応じて与えられる得点の合計を競う。

◇U23賞（同＝黄緑）

1990年以降に生まれた日本人選手が対象。選定方法は個人総合時間に準ずる。

【団体】

◇総合時間賞

各ステージのチーム上位3人の完走タイムを合計して競う。

ネット速報

ツール・ド・北海道協会は大会期間中、ホームページで出場チームを紹介するほか、成績を速報する。アドレスはhttp://www.tour-de-hokkaido.or.jp/

レース展望　層厚いNIPPO勢が軸

国際自転車競技連合（UCI）公認レースで、海外の一線級から道内の選抜選手までが、同じ舞台に立って戦うツール・ド・北海道。国内のステージ制ロードレースは周回コースを使うことが多い中、さまざまな街並みを巡りながら走る点が魅力だ。今大会は初めて、初日のスタートから最終日のゴールまでを「一筆書き」で巡れるコース設定となった。

タイトル争いは、昨年イタリアのチームとして出場し、個人、団体のタイトルを総なめにした実業団NIPPOが軸になりそうだ。昨年総合3位でエース格のカンパニャーロ・シモーネや、ステージ優勝した佐野淳哉のほか、今季各大会で好成績を収めているアルゼンチン出身のリケーゼ兄弟ら層が厚い。

これに続くのが、2010年総合優勝の清水都貴や、東大出身で今年の全日本選手権個人タイムトライアルを制した西薗良太らブリヂストンアンカー勢と、鈴木譲ら実力派がそろうシマノレーシング勢か。両チームとも海外のレースで力を付けている。

今季の国内レースで結果を残しているのは、昨年山岳2位の増田成幸が中心の宇都宮ブリッツェン勢だ。実業団優位の中で、昨年の総合5位・黒枝士揮、同6位・山本元喜の鹿屋体大コンビにも期待したい。

海外勢ではスイスは1901年に発足した歴史あるチーム。シンガポールもアジア各地の大会で結果を残している。

予選を経て編成された北海道地域選抜は、地元の利を生かして上位進出をうかがう。

出場チーム

■実業団＝9チーム
キャノンデール・スペースゼロポイント、ブリヂストンアンカー、宇都宮ブリッツェン、シマノレーシング、マトリックスパワータグ、NIPPO、右京、パールイズミ・スミタ・ラバネロ、シエルヴォ奈良

■海外招待＝4チーム
米国、スイス、シンガポール、ウズベキスタン

■大学＝5チーム
京都産業大、中大、順大、日大、鹿屋体大

■地域選抜＝1チーム
北海道選抜

昨年の大会で第1ステージを集団で疾走する選手たち＝2011年9月16日、十勝管内音更町

レースの魅力　駆け引き ゴールまで

大会には、1チーム4～5人が出場する。体力の消耗を避けるため、レース中は集団が形成されることが多く、19チームで100人近い選手が一気に駆け抜ける様子は見応えがある。

チームでは、優勝を狙う1～2人の「エース」と、エースのサポートに回る3～4人の「アシスト」に役割が分かれており、チームから個人総合時間などのタイトルを一つでも多く獲得するため、激しい駆け引きを繰り広げる。

アシストの仕事は多様だ。レースは平均時速40～50キロで進行し、風の抵抗を強く受けるため、エースの風よけとして前や横で隊列を組んだり、集団で走る他のチームをかく乱するためにペースを上げ下げしたりする。敵チームのエースを包囲してスローダウンさせることもある。

レース中は、道路が片側規制で対向車線は一般車両が通行する。チームカーから食料補給の機会が限られるため、アシストの選手が携帯する食料を手渡すことも。

さらに、1チーム9人で出場するツール・ド・フランスなどと比べ人数が少ない分、力のある海外勢がチームの連携に戸惑って終盤まで体力を温存できず、アシストの選手が先頭のままゴールすることも珍しくない。選手間の駆け引きや心理戦も見どころになる。

日程・コース

■第1ステージ（15日午前9時45分～午後1時37分）

旭川市春光台公園から上川管内当麻町役場前までの159キロ。前半は江丹別峠（標高440メートル）を越えると起伏の少ないコースが続く。105・2キロ地点の士別市岩尾内大橋から於鬼頭峠（同610メートル）頂上までの約17キロが後半のヤマ場。

■第2ステージ（16日午前9時20分～午後1時11分）

山岳、浜風 ヤマ場随所

当麻町役場前から上川管内美瑛町丸山公園までの159キロ。前半は平たんだが、後半には十勝岳が待ち構える。今大会で最も標高が高い吹上温泉（93・5キロ地点、標高1045メートル）から一気に下ってゴールになだれ込むため、山岳での攻防が鍵になる。

■第3ステージ（17日午前9時30分～午後2時22分）

美瑛町丸山公園から空知、石狩両管内を経て札幌市モエレ沼公園までの198キロ。今大会最長コースで、起伏はそれほどない。石狩市厚田から日本海沿いを走る約20キロは、強い浜風が吹く可能性もあり、体力の消耗をいかに抑えるかが勝負を分けそうだ。

（カッコ内はスタート日時とトップ選手のゴール予想時間）

●9/13　北海道新聞

北海道新聞　2012年（平成24年）9月14日（金曜日）

ツール・ド・北海道 あす開幕

国内最大級のステージ制自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2012」（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）は15日、旭川市春光台公園と上川管内当麻町役場前を結ぶ第1ステージ、159キロで開幕する。

26回目の今年は、昨年より1日短い3日間の開催となる。上川や空知、石狩の各管内の22市町を巡る総走行距離約516キロ（計3ステージ）のコースを舞台に実業団や大学、海外招待チームなど計19チーム、95選手が団体と個人のタイトルを目指す。

大会で最高の栄誉とされる個人総合時間賞は、昨年3位のカンパニャーロ・シモーネや同4位の佐野淳哉らNIPPO勢が軸となる。

シマノレーシングからブリヂストンアンカーに今季移籍した西薗良太も好調だ。

地元でチームVに貢献を　鹿屋体大 高宮

3度目のツール・ド・北海道に向け調整する高宮

鹿屋体大4年の高宮正嗣（北海高出）が地元レースに燃えている。2年ぶり3度目の出場で、今回は下級生エースを支えるアシストとしての仕事をしっかりしたいと気合十分だ。

2日まで鹿児島県で開かれた、全日本大学対抗選手権の4キロ団体追い抜きの一員として、学連記録を更新するなど好調だ。「今年はバランスの良い練習ができた」と胸を張る。

札幌市出身。北海高1年時にアイスホッケーから転向した。身体能力の高さからすぐに頭角を現し、欧州の国際大会にも出場、強豪・鹿屋体大に進んだ。

チームのエースは、昨年の個人総合時間5位の黒枝士揮と同6位の山本元喜で、いずれも3年。高宮以外のアシストは2年で、「下からの突き上げがすごい」と苦笑する。持ち味の平均速度の高さを生かして、風よけやペースメーカーなど、幅広い役割が求められる。

卒業後は就職し、一線を退く。最後の国際レースを前に「地元のレースに出場でき、恵まれている。チームとして結果を出すことが、応援してくれた人への恩返しになる」と献身的なアシストを誓った。（安房翼）

●9/14　北海道新聞

2012年（平成24年）9月15日（土曜日）　北海道新聞

上川・空知・石狩 22市町516キロ

ツール・ド・北海道開幕

【旭川】国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2012」（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催、北海道新聞社特別協力）は15日、旭川市春光台公園から上川管内当麻町役場前を結ぶ159キロの第1ステージで開幕した。

爽やかな秋晴れの下、午前9時45分、国内外19チームの95人が一斉にスタート。2・1キロをパレード走行した後、標高440メートルの江丹別峠に向けて激しい駆け引きが始まった。スタート会場や沿道では多くの市民が声援を送った。

26回目の今年は3日間開催で上川、空知、石狩各管内の計22市町、516キロを駆ける。

旭川市春光台公園をスタートし、パレード走行するツール・ド・北海道の出場選手たち（伊丹恒撮影）

●9/15　北海道新聞

北海道新聞

2012年（平成24年）9月16日（日曜日）

混戦を抜け出してステージ優勝し、両手を掲げる黒枝（中央）

黒枝（鹿屋体大）第1S制す

落車を挽回 最後に前へ

【ツール・ド・北海道】15日、旭川市春光台公園から上川管内当麻町役場前までの第1ステージ（159キロ）で開幕、昨年総合5位の黒枝士揮（鹿屋体大）が3時間56分19秒で制した。

最後まで集団がばらけず、60人が同タイムでゴールしたが、スプリント勝負で黒枝がわずかに抜け出した。昨年個人総合ポイント賞を獲得したマッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）が2位。大坪優介（北海道地域選抜）が26位に入った。

16日は、当麻町役場前から十勝岳の吹上温泉を経由し、同管内美瑛町丸山公園を目指す第2ステージ（159キロ）を行う。

最後まで横一線のレース。大学3年の黒枝が、堂々と両手を上げゴールした。鹿屋体大のチームメート、山本元喜以来2年ぶりの大学生のステージ優勝に「すごくうれしいけど、あしたから大変になる」と気を引き締めた。

ゴール前2キロの直線になっても、集団を抜け出す選手はいなかった。少しでも前に出ようと選手が横に広がる中、黒枝は真ん中を走り続けた。「気付いたらフィニッシュラインがあり、行くしかないと」。スプリンターの本能が、最後の最後でわずかに車輪を前に出させた。

86キロの補給ポイントで他選手と接触し、落車した。1分近く遅れたが、先輩のアシスト高宮正嗣（北海高出）が黒枝を待ち、トップ集団に引き戻した。黒枝は「高宮さんがいてくれてよかった」と感謝した。鹿屋体大は前回まで7年連続で23歳以下の最高位選手を出しており、今年は総合部門3位以上が目標だ。鍵を握るエースは「スプリント勝負になったら、もう1回（優勝を）狙います」と力を込めた。（安房翼）

…第1ステージ成績…

▽個人区間順位 ①黒枝士揮（鹿屋体大）3時間56分19秒②リケーゼ（NIPPO）3時間56分19秒③鈴木（シマノレーシング）3時間56分19秒④大久保（パールイズミ・スミタ・ラバネロ）3時間56分19秒⑤吉田（ブリヂストンアンカー）3時間56分19秒⑥住吉（日大）3時間56分19秒＝順位は着差による▽団体区間順位 ①米国11時間48分57秒②シマノレーシング11時間48分57秒③日大11時間48分57秒④ブリヂストンアンカー11時間48分57秒⑤ウズベキスタン11時間48分57秒⑥鹿屋体大11時間48分57秒⑱北海道地域選抜11時間49分19秒＝上位3人の合計タイム。同タイムは3人の着順合計の少ない方を上位とする

…通算成績…

▽個人総合時間順位 ①黒枝士揮（鹿屋体大）3時間56分9秒②リケーゼ（NIPPO）3時間56分13秒③シェイマノフ（ウズベキスタン）3時間56分14秒④鈴木（シマノレーシング）3時間56分15秒⑤窪木（マトリックスパワータグ）3時間56分16秒⑥大久保（パールイズミ・スミタ・ラバネロ）3時間56分19秒▽個人総合ポイント順位 ①黒枝士揮（鹿屋体大）25②リケーゼ（NIPPO）20③鈴木（シマノレーシング）16④大久保（パールイズミ・スミタ・ラバネロ）14⑤吉田（ブリヂストンアンカー）12⑥住吉（日大）10▽個人総合山岳順位 ①ハミルトン・ニック（米国）10②窪木（マトリックスパワータグ）7③鈴木（シマノレーシング）5④佐野（NIPPO）5⑤伊丹（ブリヂストンアンカー）1⑥パリアーニ（NIPPO）1＝同ポイントは個人総合時間の少ない方を上位とする

▼大坪、トップに食らいつき26位

旭医大6年生の大坪＝写真＝は、トップと同タイムでゴールして26位。峠の頂上まで駆けつけた同級生の声援を受け、「何とか食らいついていけました」と笑顔だった。

昨年に続き2度目の出場となるオールラウンダー。集団の前方にいることを意識して走り、海外選手や実業団勢の揺さぶりにも動じなかった。

道内の病院への就職が決まっており、卒業試験の真っ最中だったが、連日5時間の練習を欠かさなかった。第2ステージは難所の十勝岳が待つ。「何度も通ったコースなのでメーン集団に残れるようにしたい」

●9/16　北海道新聞

朝日新聞

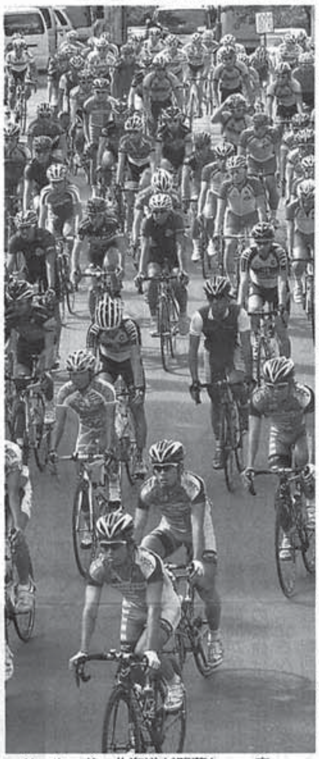
2012年（平成24年）9月16日　日曜日

初秋の上川路 銀輪咲く

ツール・ド・北海道開幕

国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が15日開幕し、海外の4チームを含めた計19チームの選手が旭川市の春光台公園をスタートした。17日に札幌市でゴールするまで、3日間で計516キロを走る。

今年で26回目。第1ステージは旭川市から和寒町、剣淵町の田園地帯などを通って当麻町役場までの約159キロを走った。16日の第2ステージは当麻町から約159キロ。第3ステージは美瑛町から砂川市、滝川市などを通って札幌市・モエレ沼公園までの約198キロを疾走する。



ツール・ド・北海道が開幕し、一斉にスタートする選手たち＝旭川市

●9/16　朝日新聞

日刊スポーツ

2012年（平成24年）9月16日　日曜日

ツール・ド・北海道

旭川で開幕

国内外19チーム参戦

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が15日、旭川市から当麻町までの第1ステージ（159キロ）を皮切りに開幕した。17日までの3日間、道北・道央地域の約516キロを疾走。十勝岳周辺や丘陵が広がる美瑛町、日本海沿いの石狩市など20以上の市と町を通過し、ゴールの札幌市を目指す。26回目の今年は米国やスイスなど海外勢を含む19チーム95人が参加し、個人やチームのタイムを競う。

●9/16　日刊スポーツ

道新スポーツ

9月16日（日曜日）

ツール・ド・北海道2012

第1日第1ステージ（15日 旭川市～当麻町）

黒枝第1ステージ優勝

国内外の招待チームを含む19チームが参加。旭川市春光台公園から当麻町役場前までの159キロにわたる第1ステージで、今年も国内最大級の自転車ロードレースが開幕した。60人が同タイムでゴールしたが、スプリント勝負を昨年総合5位の黒枝士揮（鹿屋体大）が3時間56分19秒で制した。第2ステージは16日、当麻町から美瑛町まで159キロで行われる。

…第1ステージ成績…

▽個人区間順位 ①黒枝士揮（鹿屋体大）3時間56分19秒②リケーゼ（NIPPO）3時間56分19秒③鈴木（シマノレーシング）3時間56分19秒④大久保（パールイズミ・スミタ・ラバネロ）3時間56分19秒⑤吉田（ブリヂストンアンカー）3時間56分19秒⑥住吉（日大）3時間56分19秒＝順位は着差による▽団体区間順位 ①米国11時間48分57秒②シマノレーシング11時間48分57秒③日大11時間48分57秒④ブリヂストンアンカー11時間48分57秒⑤ウズベキスタン11時間48分57秒⑥鹿屋体大11時間48分57秒⑱北海道地域選抜11時間49分19秒＝上位3人の合計タイム。同タイムは3人の着順合計の少ない方を上位とする

…通算成績…

▽個人総合時間順位 ①黒枝士揮（鹿屋体大）3時間56分9秒②リケーゼ（NIPPO）3時間56分13秒③シェイマノフ（ウズベキスタン）3時間56分14秒④鈴木（シマノレーシング）3時間56分15秒⑤窪木（マトリックスパワータグ）3時間56分16秒⑥大久保（パールイズミ・スミタ・ラバネロ）3時間56分19秒▽個人総合ポイント順位 ①黒枝士揮（鹿屋体大）25②リケーゼ（NIPPO）20③鈴木（シマノレーシング）16④大久保（パールイズミ・スミタ・ラバネロ）14⑤吉田（ブリヂストンアンカー）12⑥住吉（日大）10▽個人総合山岳順位 ①ハミルトン・ニック（米国）10②窪木（マトリックスパワータグ）7③鈴木（シマノレーシング）5④佐野（NIPPO）5⑤伊丹（ブリヂストンアンカー）1⑥パリアーニ（NIPPO）1＝同ポイントは個人総合時間の少ない方を上位とする

●9/16　道新スポーツ

スポーツ報知

2012年（平成24年）9月16日（日曜日）

「ツール・ド・北海道」開幕

鹿屋体大黒枝ステージ優勝

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が15日、19チーム95人が参加して開幕。旭川市～当麻町の第1ステージ（159キロ）を行い、黒枝士揮（鹿屋体育大）が3時間56分19秒051で、ステージ優勝を飾った。チーム順位は、ジェリーベリー・サイクリング（米国）が11時間48分57秒でトップに立った。16日は、当麻町～美瑛町の159キロで第2ステージが行われる。

●9/16　スポーツ報知

北海道新聞

2012年（平成24年）9月17日（月曜日）

リケーゼ第2S優勝

ツール・ド・北海道

16日、上川管内当麻町役場前と同管内美瑛町丸山公園を結ぶ第2ステージ（159㌔）を行い、前日区間2位のマッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）が4時間0分28秒で優勝した。個人総合時間でも首位に立った。

残り5㌔で実業団の3チーム6人が抜けだし、最後はリケーゼが地力を見せた。北海道地域選抜は完走者が2人だったため、チーム上位3人の合計タイムで争う団体総合時間順位から除外された。

最終日の17日は丸山公園を出発し、空知管内を横断して札幌市のモエレ沼公園を目指す、今大会最長の第3ステージ（198㌔）で争われる。

第2ステージを制し、両手を挙げて喜ぶリケーゼ（右）。左は2位の西薗（小川正成撮影）

…第2ステージ成績…

▽個人区間順位 ①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）4時間0分28秒②西薗（ブリヂストンアンカー）4時間0分28秒③増田（宇都宮ブリッツェン）4時間0分28秒④飯野（宇都宮ブリッツェン）4時間0分28秒⑤窪木（マトリックスパワータグ）4時間0分30秒⑥伊丹（ブリヂストンアンカー）4時間0分33秒＝同タイムの順位は着差による

▽団体区間順位 ①宇都宮ブリッツェン12時間1分39秒②ブリヂストンアンカー12時間1分44秒③NIPPO12時間1分47秒④米国12時間4分8秒⑤キャノンデール・スペースゼロポイント12時間10分5秒⑥シマノレーシング12時間13分9秒＝上位3人の合計タイム

…通算成績…

▽個人総合時間順位 ①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）7時間56分31秒②西薗（ブリヂストンアンカー）7時間56分41秒③増田（宇都宮ブリッツェン）7時間56分43秒④窪木（マトリックスパワータグ）7時間56分46秒⑤飯野（宇都宮ブリッツェン）7時間56分47秒⑥ハミルトン（米国）7時間56分52秒

▽個人総合ポイント順位 ①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）45②黒枝（鹿屋体大）25③西薗（ブリヂストンアンカー）20④鈴木（シマノレーシング）19⑤吉田（ブリヂストンアンカー）19⑥ハミルトン（米国）18＝同ポイントの順位は、個人総合時間による

▽個人総合山岳順位 ①ニック・ハミルトン（米国）13②井上（ブリヂストンアンカー）10③窪木（マトリックスパワータグ）9④山本（鹿屋体大）8⑤マーティン（シンガポール）6⑥佐野（NIPPO）5

▽団体総合時間順位 ①宇都宮ブリッツェン23時間50分36秒②ブリヂストンアンカー23時間50分41秒③NIPPO23時間50分44秒④米国23時間53分5秒⑤キャノンデール・スペースゼロポイント23時間59分2秒⑥シマノレーシング24時間2分6秒

強い気持ちで実力発揮

大会随一のスプリンターの意地に懸けて、2日連続でスプリント勝負を落とすわけにはいかなかった。リケーゼはゴール前1㌔の直線で後続を振り切り、「負ければ全てを失うぐらいの気持ちで臨んだ。勝ててよかった」と胸をなで下ろした。

十勝岳が主戦場の第2ステージは、上りが苦手なリケーゼにとって鬼門。だが、チームメートの好アシストで脚力を温存、トップ集団で終盤に突入できたことが大きかった。前日は大学生に敗れ2位で「がっかりした」が、引きずることなく、実業団の選手5人を相手に競り勝った。

2位の西薗（ブリヂストンアンカー）は「最後のアタックに（スプリント力のある）リケーゼが入り、1位を狙う走りができなかった」と白旗。前回大会でタイトルを独占したNIPPOの大門監督は「ウチへのマークはかなり厳しかったが、選手たちは気持ちを切らさずやってくれた」とねぎらった。

リケーゼはアルゼンチン出身で、今季の国際自転車競技連合アメリカツアーではポイント首位。マークされる中で結果を残す実力は折り紙付きだが、プロ7年目でステージ制レースの総合優勝経験はない。最終日に向け、「（リーダー）ジャージーを守りきりたい」と意気込んだ。（安房翼）

▼吉村、下りで最高時速84㌔

北海道地域選抜は、北海学園大4年の吉村拓斗＝写真＝がトップと10分53秒差の39位に入ったのが最高。ゴール直前、強豪の日大選手と激しく競り合って敗れ、「得意の上りで足を使いすぎ、最後に伸びなかった」と悔しがった。

十勝岳の下りでは濃い霧の中、果敢に攻めて最高時速84・4㌔をマーク。「練習では70㌔台しか出したことがない。試合だからできたアタック」と納得の表情も見せた。

今年は就職活動のため、5月まで練習ができなかったが、その後は1カ月に3千㌔以上走り、大会に間に合わせた努力家だ。

●9/17　北海道新聞

道新スポーツ

2012年（平成24年）9月17日（月曜日）

リケーゼ第2ステージ制覇

ツール・ド・北海道2012
第2日第2ステージ（16日 当麻町〜美瑛町）

前日区間2位のマッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）が、159㌔のステージを4時間0分28秒で制し優勝した。個人総合時間でも首位に立った。最終日の17日は、美瑛町丸山公園を出発し、札幌市のモエレ沼公園を目指す、今大会最長の第3ステージ（198㌔）で行われる。

…第2ステージ成績…

▽個人区間順位 ①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）4時間0分28秒②西薗（ブリヂストンアンカー）4時間0分28秒③増田（宇都宮ブリッツェン）4時間0分28秒④飯野（宇都宮ブリッツェン）4時間0分28秒⑤窪木（マトリックスパワータグ）4時間0分30秒⑥伊丹（ブリヂストンアンカー）4時間0分33秒＝同タイムの順位は着差による

▽団体区間順位 ①宇都宮ブリッツェン12時間1分39秒②ブリヂストンアンカー12時間1分44秒③NIPPO12時間1分47秒④米国12時間4分8秒⑤キャノンデール・スペースゼロポイント12時間10分5秒⑥シマノレーシング12時間13分9秒＝上位3人の合計タイム

…通算成績…

▽個人総合時間順位 ①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）7時間56分31秒②西薗（ブリヂストンアンカー）7時間56分41秒③増田（宇都宮ブリッツェン）7時間56分43秒④窪木（マトリックスパワータグ）7時間56分46秒⑤飯野（宇都宮ブリッツェン）7時間56分47秒⑥ハミルトン（米国）7時間56分52秒＝同タイムの順位は、これまでの順位の総和による

▽個人総合ポイント順位 ①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）45②黒枝（鹿屋体大）25③西薗（ブリヂストンアンカー）20④鈴木（シマノレーシング）19⑤吉田（ブリヂストンアンカー）19⑥ハミルトン（米国）18＝同ポイントの順位は、個人総合時間による

▽個人総合山岳順位 ①ニック・ハミルトン（米国）13②井上（ブリヂストンアンカー）10③窪木（マトリックスパワータグ）9④山本（鹿屋体大）8⑤マーティン（シンガポール）6⑥佐野（NIPPO）5＝同ポイントは個人総合時間の少ない方を上位とする

▽団体総合時間順位 ①宇都宮ブリッツェン23時間50分36秒②ブリヂストンアンカー23時間50分41秒③NIPPO23時間50分44秒④米国23時間53分5秒⑤キャノンデール・スペースゼロポイント23時間59分2秒⑥シマノレーシング24時間2分6秒

●9/17　道新スポーツ

スポーツ報知

2012年（平成24年） 9月17日（月曜日）

マッシミリアーノ総合トップ

ツール・ド・北海道第2S

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」は16日、当麻町〜美瑛町の159㌔で第2ステージを行い、リケーゼ・マッシミリアーノ（チームNIPPO）が4時間00分28秒で制し、個人総合順位も7時間56分31秒でトップに立った。チーム順位は宇都宮ブリッツェンが23時間50分36秒でトップに躍り出た。

17日は美瑛町丸山公園〜札幌モエレ沼公園（198㌔）で第3ステージを行う。

●9/17　スポーツ報知

北海道新聞
2012年(平成24年)9月18日(火曜日)

ツール・ド・北海道

リケーゼ個人総合V

チーム力で最高栄誉

最終日は17日、上川管内美瑛町丸山公園と札幌市モエレ沼公園を結ぶ第3ステージ（198㌔）で行い、マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）が4時間38分32秒で前日に続いて優勝し、最高栄誉の個人総合時間賞と、個人総合ポイント賞の2冠に輝いた。

今大会最長コースながら、35人が同タイムでゴールする接戦だったが、リケーゼが連日のスプリント勝負を制した。

個人総合山岳賞は、初日から首位を守ったニック・ハミルトン（米国）が獲得。団体総合時間賞は宇都宮ブリッツェンが初めて手にした。

ゴール直前でのスプリント勝負が得意なリケーゼ。最終日も大集団で迎えたラスト300㍍の直線で一気に抜け出すと、余裕を持って両手を掲げてゴール。2連勝で個人総合時間賞を獲得し、「チーム一人一人が機能して、最高の結果を残せた」と満面の笑みを浮かべた。

NIPPOが集団のペースをつくり続けた第1、2ステージと違い、総合タイトルを狙う各チームが積極的にアタックしたため高速レースとなった。3分の2を過ぎた143・8㌔地点の山岳ポイント周辺で、70人近い集団はリケーゼらNIPPO勢を含む40人ほどに絞られて、そのまま終盤へ。チームの狙い通りだった。

普段はアシストを務めるリケーゼだが、今大会はスプリント勝負になりやすいコースのため、エースの役割を与えられた。チームメートは、日本ではエース級の選手ばかりだが、個人の欲を出さず風よけや集団のけん引などアシストに徹した。

今大会での2勝を含め、今季は16勝。完走こそ逃したが、ロンドン五輪にも出場を果たす充実したシーズンを送る。今後の目標を聞かれ、「大きなチームに移籍し、（イタリアの名門レース）ミラノ—サンレモで優勝したい」と力強く答えた。（安房翼）

▼順大の中尾、U23賞　順大の中尾佳祐＝写真＝が、1990年以降生まれの日本人最上位に与えられるU23賞に輝いた。8年ぶりの鹿屋体大以外の受賞となり、「鹿屋キラーになれた」と舌も滑らかだった。

今月上旬の全日本大学対抗選手権を制した登りの強さを生かし、トップ集団でゴール。日大の雨宮正樹らと合計タイムで並んだが、3日間の順位の合計で勝った。明るい性格のムードメーカーは「最後は浮かれてジャージーに触りながらゴールしたけど、危なかった」と苦笑いした。

一方、8連覇を逃した鹿屋体大の黒川監督は「総合の上位を狙って攻めた結果。U23賞を手放したことで、一つ上の段階に行ける」と納得していた。

■—■

北海道地域選抜・大坪（旭医大6年。個人総合時間51位）「完走はスタッフのおかげ。これからは医師国家試験の勉強です」

北海道地域選抜・吉村（北海学園大4年。同52位）「初めて完走した昨年より周りが見えた。達成感が大きい」

個人総合時間賞を獲得したリケーゼ（中央）。左は2位の西薗、右は3位の窪木（栗本充則撮影）

…第3日成績…

▽個人区間順位　①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）4時間38分32秒②ハミルトン（米国）4時間38分32秒③小室（キャノンデール・スペースゼロポイント）4時間38分32秒④窪木（マトリックスパワータグ）4時間38分32秒⑤広瀬（宇都宮ブリッツェン）4時間38分32秒⑥マズィク（米国）4時間38分32秒＝順位は着差による

▽団体区間順位　①米国13時間55分36秒②ブリヂストンアンカー13時間55分36秒③宇都宮ブリッツェン13時間55分36秒④キャノンデール・スペースゼロポイント13時間55分36秒⑤中大13時間55分45秒⑥ウズベキスタン13時間55分54秒＝上位3人の合計タイム。同タイムは3人の着順合計の少ない方を上位とする

…通算成績…

▽個人総合時間順位　①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）12時間34分49秒②西薗（ブリヂストンアンカー）12時間35分11秒③窪木（マトリックスパワータグ）12時間35分12秒④増田（宇都宮ブリッツェン）12時間35分15秒⑤ハミルトン（米国）12時間35分18秒⑥飯野（宇都宮ブリッツェン）12時間35分19秒

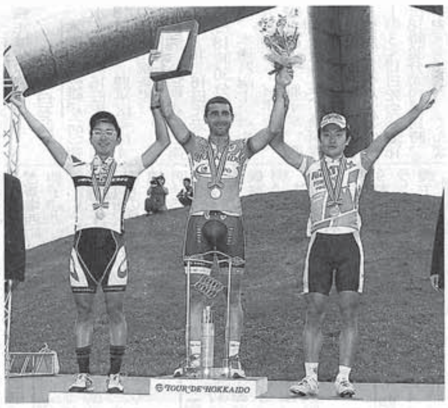
▽個人総合ポイント順位　①マッシミリアーノ・リケーゼ（NIPPO）76②窪木（マトリックスパワータグ）41③ハミルトン（米国）38④西薗（ブリヂストンアンカー）28⑤吉田（ブリヂストンアンカー）27⑥黒枝（鹿屋体大）25

▽個人総合山岳順位　①ニック・ハミルトン（米国）21②井上（ブリヂストンアンカー）15③窪木（マトリックスパワータグ）9④マーティン（シンガポール）8⑤山本（鹿屋体大）8⑥佐野（NIPPO）6＝同ポイントは個人総合時間の少ない方を上位とする

▽団体総合時間順位　①宇都宮ブリッツェン37時間46分12秒②ブリヂストンアンカー37時間46分17秒③NIPPO37時間47分0秒④米国37時間48分41秒⑤キャノンデール・スペースゼロポイント37時間54分38秒⑥中大38時間2分39秒

●9/18　北海道新聞

読売新聞
2012年(平成24年)9月18日(火曜日)



個人成績1位のリケーゼ・マッシミリアーノ選手（中央）、2位の西薗良太選手（左）と3位の窪木一茂選手

リケーゼ選手 総合優勝

ツール・ド・北海道 閉幕

国内最大規模の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2012」（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催）は最終日の17日、美瑛町を出発して198㌔を走り、19チーム計67人が札幌市東区のモエレ沼公園にゴールした。

個人総合優勝はアルゼンチン国籍のリケーゼ・マッシミリアーノ選手（チームNIPPO、12時間34分49秒）で、「最後に結果を残せて良かった」と振り返った。団体総合優勝は栃木県のロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」（37時間46分12秒）で、広瀬佳正選手は「チームの仲間が優勝させてくれた」と話した。

2、3位は以下の通り（敬称略）。

▽個人総合　②西薗良太（ブリヂストンアンカーサイクリングチーム、12時間35分11秒）③窪木一茂（マトリックスパワータグ、12時間35分12秒）

▽団体総合　②ブリヂストンアンカーサイクリングチーム（37時間46分17秒）③チームNIPPO（37時間47分）

●9/18　読売新聞

ツール・ド・北海道2012　報道・広報-8
～市町村広報誌等の広報-①～

「ツール・ド・北海道２０１２」国内外20チームが当麻町にやってきます！

国際自転車競技連合（ＵＣＩ）公認の自転車のステージレース「ツール・ド・北海道2012」。９月15日に旭川市をスタートしゴールの札幌市まで３ステージ３日間の日程で、総走行距離516㎞のロードレースが開催されます。

参加チームは国内外20チーム100人の選手が参加。選手たちに沿道からのご声援をお願いします。

■交通規制について

- 交通規制が行われている道路では、競技と同一方向への車両の通行ができません。
- 通行できる場合であっても、競技自転車が接近しているときには右折、転回はできません。また、場合により一時停止をお願いすることがあります。
- 競技自転車とすれ違うときは、減速するなど競技の安全にご協力ください。

■全面通行止めについて（競技通行時間帯）

- ９月15日（土）道道当麻比布線　１丁目～３丁目区間
- ９月16日（日）道道当麻比布線　２丁目～石北本線踏切区間
  道道豊田当麻線　松の沢道路～旭川市境界

●当麻町　広報８月号掲載

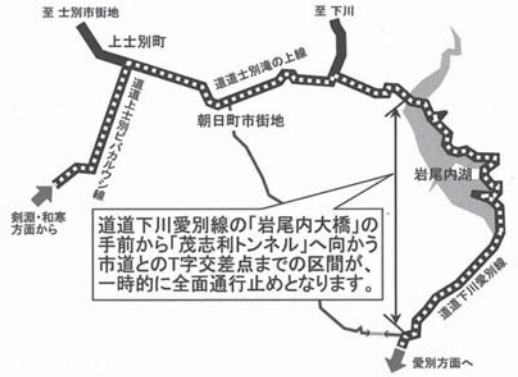
交通規制にご協力ください　ツール・ド・北海道２０１２

第26回を迎えるツール・ド・北海道大会が、９月15日（土）から３日間の日程で開催されます。

士別市の通過は、１日目の第１ステージのコースとされており、「道道上士別ビバカルウシ線」を剣淵町・和寒町方面から上士別町川南に入り、「道道士別滝の上線」の交差点を右折し、朝日町方面に向かいます。その後、岩尾内湖畔沿いを走り、「道道下川愛別線」を愛別町方面へと向かいます。現場では、交通規制が実施されますので、ご協力をお願いします。

●士別市での規制時間（予定）→９月15日（土）午前11時40分～午後１時05分

●問合せ→財団法人ツール・ド・北海道協会☎011(222)5922



●士別市　広報９月号掲載

●比布町　広報９月号掲載

ツール・ド・北海道2012　報道・広報-9
～市町村広報誌等の広報-②～

ツール・ド・北海道2012
9月17日に砂川を駆け抜ける

日本最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道2012」が、ことしも9月15日㈯から17日㈪にかけて、道北・道央圏を舞台に、開催されます。

今回、このレースの第3ステージ（美瑛町～札幌市）で砂川市がコースの一部となり、国内外から集まった100人のトップアスリートが市内を駆け抜けますので、ぜひご覧ください。

と　き　9月17日㈪　午前11時20分～正午ごろ
ところ　道道赤平滝川線（富平～空知太）から空知大橋を通過

※　当日は、選手が通過する予定時間に、交通規制が行われますので、ご協力をお願いします
◆お問い合わせ　スポーツ振興課㊿２１７５

●砂川市　広報９月号掲載

ツール・ド・北海道は、今年で26回を迎え、9月15日（土）から17日（月・祝）までの3日間、美瑛町を含む道北および道央を中心とした516kmコースでステージレースが開催されます。

9月16日の第2ステージでは当麻町をスタートした選手が、美瑛町内を走り抜け丸山公園にゴールし、翌17日には札幌のゴールに向け、丸山公園をスタートします。

ツール・ド・北海道では、個人総合時間賞、個人総合ポイント賞、個人総合山岳賞、団体総合優勝の4つの賞を競ってレースが行われ、美瑛町を走る第2ステージはアップダウンが多くレースの最大の山場と言えます

また、今大会では市民レースも開催され、9月15日には丸山公園周辺で個人タイムトライアルが、9月16日にはツール・ド・北海道第2ステージとほぼ同じコースを使って市民ロードレースが開催されます。

大会中は一部交通規制を行いますので、みなさんのご協力をお願いします。

ツール・ド・北海道2012のコースと交通規制については広報折込チラシをご覧ください。

STAGE1　9/15（土）159km
スタート：旭川市春光台公園〈9：45〉
フィニッシュ：当麻町役場前〈13：35〉
表彰式：当麻町役場前〈14：20〉

STAGE2　9/16（日）159km
スタート：当麻町役場前〈9：20〉
フィニッシュ：美瑛町丸山公園〈13：10〉
表彰式：美瑛町丸山公園〈14：00〉

STAGE3　9/17（月）198km
スタート：美瑛町丸山公園〈9：30〉
フィニッシュ：札幌市モエレ沼公園〈14：20〉
表彰式：札幌市モエレ沼公園〈15：10〉

市民タイムトライアル 9/15（土）
美瑛町丸山公園特設コース　**1.2km**
〈12：00～15：00〉
（参加選手が一人ずつ丸山公園外周を1周します）
表彰式：美瑛町丸山公園〈15：30〉

市民ロードレース 9/16（日）コースA 107km・コースB 87km・コースC 62km
スタート：A当麻町役場前〈9：25〉 B東川町役場前〈10：05〉 C美瑛町聖台公園〈10：55〉
フィニッシュ：A～C美瑛町丸山公園くA 12：15　B 12：25　C 12：45〉
表彰式：美瑛町丸山公園〈14：30〉

※フィニッシュ時間は予定時間です。

●美瑛町　広報９月号掲載

催し
ツール・ド・北海道

9月17日㈪、ツール・ド・北海道2012が、新十津川町を通過します。沿道から選手への声援をお願いします。
※通過予定時刻の前後は、通行規制が行われますので、ご注意ください。
問合せ　教育委員会社会教育グループ　☎76・4233

●新十津川町　広報９月号掲載

ツール・ド・北海道2012　報道・広報-10
～市町村広報誌等の広報-③～

●美瑛町　広報10月号掲載

ツール・ド・北海道 2012 芦別市内を選手が走ります

日本最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が９月15日（土）～17日（月・祝）までの３日間、旭川市をスタートし、ゴールの札幌市を目指して開催されます。

17日の第３ステージは、芦別市が通過地点となり、午前10時30分頃～11時20分頃にかけて多数の選手が市内を駆け抜けますので、市民の皆さんの熱い声援をお願いします。

なお、同時間帯には通行規制がとられますので、ご理解とご協力をお願いします。

◎芦別市内のルート・通行規制区間／中富良野町境界から赤平市境界までの国道38号（芦別バイパス）

●問い合わせ／体育振興係

☎24-2525

●芦別市　広報９月号掲載

交通規制にご協力を

町内の次の区間が「ツール・ド・北海道２０１２」のコースとなっており、選手が通過している間は交通規制されます。ご理解とご協力をお願いします。

◘１日目　９月16日(日)
11時40分～12時20分通過予定
十勝岳温泉美瑛線～後藤純男美術館～上富良野高校～上富良野パークゴルフ場～道道美沢上富良野線美瑛境界

◘２日目　９月17日(月・祝)
10時20分～10時25分通過予定
留辺蘂上富良野線～奈江富良野線

問合せ　教育振興課社会教育班
☎㊺５５１１

●上富良野町　広報９月号掲載

ツール・ド・北海道2012　報道・広報-11
～市町村広報誌等の広報-④～

「ツール・ド・北海道」で町内がコースになります

国内最大の自転車レース「ツール・ド・北海道２０１２」（ツール・ド・北海道協会、日本自転車競技連盟主催）の大会２日目、東川町内がレースコースになります。沿道で選手にご声援ください（レース通過時にコースの一部通行規制が行われますのでご注意ください）。

９月16日（日）、第２ステージ（「当麻町―美瑛町」間１５９キロメートルのロードレース）のうち、スタート約20分後の午前９時45分ごろから約30分間の間にレース出場チームが町内を通過します。

総走行距離５１６キロメートル。プロ20チーム（海外５チーム）、市民レース競技合わせて約４００人が出場予定です。

チームレースのほかに、レース２日目市民レースのロードレースＢコース（87キロメートル）で東川町役場前がスタート地点（フィニッシュは美瑛町丸山公園）になります。スタートは同10時５分です。

第２ステージ（ロードレースの一部）、市民レース（Ａ、Ｂコース）のコースは、「当麻町（役場前）―旭川市米原―東川町西５号北７線―西４号北７線―東川町役場前―道道旭川旭岳温泉線（基線道路）―東神楽町志比内交差点右折―美瑛町朗根内―同町宇幕別―同町丸山公園」間です。

市民レースは、①個人タイムトライアル（美瑛町内１・２キロメートル）②ロードレースＡ～Ｃ３コース（「当麻町～美瑛町」間総延長２５６キロメートル）③周回コース（札幌モエレ沼公園33キロメートル）―で設定されています。

●東川町　広報９月号掲載

Ishikari ⑲ 9/15（土）～17（月・祝）

ツール・ド・北海道2012

今年で第26回目を迎える自転車競技「ツール・ド・北海道2012」が9/15（土）～17（月・祝）までの3日間行われます。最終日の9/17（月・祝）は、美瑛町を出発し、コース終盤には石狩市を経由し、札幌市東区のモエレ沼公園のゴールを目指します。沿道での盛大な応援をお願いします。

市内ルート　当別町―道道11号―厚田区―国道231号―石狩河口橋―生振―国道337号―札幌市へ

市内通過時間　13:00～14:30　※天候やレース展開により前後します。この時間帯は、交通規制を予定しており、ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします

問合せ　(財)ツール・ド・北海道協会
☎011-222-5922

●石狩市　広報９月号掲載

「ツール・ド・北海道」選手が市内を疾走

日本最大の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」が９月15日から17日まで、旭川市をスタートし、札幌市をゴールとするルートで開催されました。

このうち、17日の第３ステージは、選手・伴走車合わせて約200人の一団が芦別市内の滝里湖畔から国道38号に入り、芦別市内を通過しました。同大会で芦別市内がルートとなるのは、2006年に国道452号三段滝付近が設定されて以来のこと。

なまこ山総合運動公園前や道の駅付近では、疾走する選手を見ようと、市民の皆さんらが沿道に集り、選手に声援を送りました。

広報・星の降る里あしべつ　平成24(2012)年10月

●芦別市　広報10月号掲載

ツール･ド･北海道2012　報道･広報-12
～市町村広報誌等の広報-⑤～

ツール・ド・北海道2012の開催における交通規制

９月17日(月)「ツール・ド・北海道」開催にあたり右図太線部分の交通規制を実施します。通過時刻はおおむね11時20分～12時10分の間を予定しています。交通規制にご協力をお願いします。

問合先　社会教育課　Tel.28-8046

●滝川市　広報９月号掲載

ツール・ド・北海道！

９月15日、ツール・ド・北海道が行われ、第１ステージの競技コースで剣淵町を通過しました。

当日、大通りでは、チアリーディングや屯田太鼓、大勢の観客が選手を応援し、盛り上がりを見せました。レース中、剣淵町の応援に気づき、手を振る選手もいました。通過時間は約５分でしたが、選手にとっても観客にとっても忘れられない時間になったのではないかと思います。

●剣淵町　広報10月号掲載

ツール・ド・北海道選手約400人が町内を駆け抜け

９月16日、ツール・ド・北海道2012のレースが町内をコースの一部として開かれ、各地から出場した約400人が駆け抜けました。

旭川市をスタートし「旭川―当麻―東川―美瑛―札幌」を巡る総延長516㌔。このうち町内をコースとする第2日は、19チーム（プロ9チーム、大学5チーム、国別代表5カ国）の第2ステージレース「当麻町―美瑛町」間159㌔と、市民ロードレースAコース（当麻―美瑛間107㌔）、同Bコース（東川―美瑛間87㌔）のコースになりました。

役場前をホットスポット（計時ポイント）としてプロチームが一気に駆け抜けると、その後を追うように市民レースBコースがスタート。午前10時15分、出場約220人が一斉に美瑛町を目指し、町内から中級者個人ロードレース（S3クラス）に出場した今井太郎さん（37）が2時間21分46秒で3位に入賞しました。

●東川町　広報10月号掲載

その他の広報活動

■その他の広報

- ○ 北海道観光機構ホームページ（北海道ぐるり旅）
- ○ 開発こうほう「マルシェノルド」９月号
- ○ アミュズメントふりっぱー「うぇるかむ栄町」９月号
- ○ 日本観光振興協会ホームページ（旅そうだん）
- ○ 協同組合インフォメーションテクノロジー関西ホームページ
- ○ 月刊サイクルスポーツ（八重洲出版）９月号
- ○ バイシクル２１（ライジング出版）11月号
- ○ 月刊サイクルスポーツ（八重洲出版）12月号

■テレビ放送

ＨＴＢ（道内）

10月６日（土）　16時30分～17時25分

ＢＳ朝日（全国）

10月８日（月・祝）　14時00分～14時55分

■ツール･ド･北海道　写真展等

- 主　催　ＩＫＥＵＣＨＩ
- 開催日・場所

１月２日（月）～２月12日（日）
札幌市中央区南１条西５丁目ＩＫＥＵＣＨＩ　５階会場

５月３日（木）～５月４日（金）、９月７日（金）～９月９日（日）
札幌駅大通地下歩行空間

ＩＫＥＵＣＨＩ　５階会場

地下歩行空間

ツール・ド・北海道2012　大会役員名簿

● **総　　裁**　綿貫民輔　(財)ツール・ド・北海道協会会長

● **副 総 裁**　高橋はるみ　北海道知事[協会顧問]
上田文雄　札幌市長[協会顧問]
西原　巧　(財)ツール・ド・北海道協会顧問
眞田　眞　(財)ツール・ド・北海道協会顧問

● **大 会 長**　山本隆幸　(財)ツール・ド・北海道協会理事長

● **副大会長**　大島研一　(財)日本自転車競技連盟会長代行
石黒克巳　(財)JKA会長
近藤龍夫　(財)ツール・ド・北海道協会副理事長[北海道経済連合会会長]
伊藤義郎　(財)ツール・ド・北海道協会副理事長[一般社団法人北海道建設業協会名誉会長]
鈴木弘泰　(財)ツール・ド・北海道協会副理事長[公益財団法人寿原記念財団理事長]

● **大会顧問**　張　富士夫　公益財団法人日本体育協会会長
橋本聖子　参議院議員
河本英典　(財)ツール・ド・北海道協会理事[綾羽株式会社取締役社長]
関　博之　国土交通省北海道開発局長
増山壽一　経済産業省北海道経済産業局長

● **大会参与(五十音順)**

我孫子健一　財団法人ツール・ド・北海道協会 理事
荒木啓文　社団法人北海道商工会議所連合会 専務理事
池田明聰　池田明聰公認会計士事務所 公認会計士
泉山利彦　サッポロビール株式会社北海道本社 代表
伊藤昭宣　和寒町長
伊藤喜代志　比布町長
植田　満　新十津川町長
小川　魁　北海道サイクリング協会 会長代行
小川敏雄　財団法人札幌市青少年女性活動協会 理事長
鎌田公浩　北海道自転車競技連盟 会長
鎌田照章　国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部長
菊川健一　当麻町長
木佐剛三　中富良野町長
清澤茂宏　芦別市長
小林好宏　北海道大学 名誉教授
斉藤智徳　北武事業協同組合 顧問
佐々木智雄　剣淵町長
笹部俊雄　財団法人ＪＫＡ 理事
渋谷良二　財団法人日本自転車普及協会 常務理事
島野喜三　一般社団法人自転車協会 名誉理事長
杉本守巧　社団法人北海道トラック協会 会長
助安嘉和　鷹栖町長
諏訪頼久　日本無線株式会社 代表取締役会長
清崎晶雄　財団法人ツール・ド・北海道協会 評議員
泉亭俊彦　当別町長
田岡克介　北海道市長会 会長・石狩市長
高尾弘明　赤平市長
恒松　浩　財団法人ツール・ド・北海道協会 理事
寺島光一郎　北海道町村会 会長
長澤茂嗣　一般財団法人札幌市体育協会 副会長
新山　惇　北海道建設業信用保証株式会社 取締役社長
西川将人　旭川市長
西村泰弘　国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部長
浜田　哲　美瑛町長
林田紀久男　株式会社NIPPO 代表取締役会長
平柳　豊　財団法人ＪＫＡ 専務理事
藤田克己　日本航空札幌支店 北海道地区支配人
前田康吉　滝川市長
牧野勇司　士別市長
松岡市郎　東川町長
向山富夫　上富良野町長
村田正敏　株式会社北海道新聞社 代表取締役社長
守田秀生　幌加内町長
安江　哲　株式会社ドーコンモビリティデザイン 代表取締役社長
矢部福二郎　愛別町長
山本　進　東神楽町長
善岡雅文　砂川市長
渡辺一郎　一般社団法人北海道舗装事業協会 会長
渡辺俊隆　全日本空輸株式会社 執行役員札幌支店長

ツール・ド・北海道2012　大会競技役員名簿

■大会実行委員長
勇崎　恒也

■大会実行副委員長
穴田　勝彦・小野　盛秀

■総務委員長・大会ディレクター
山本　隆幸

■総務副委員長
鈴木　秀之

■総務委員
小塚　耕平・遊佐　義彦・伊藤　清治・大脇　恒夫
堀江　洋一郎・土屋　朋子・小林　かおり・児玉　万里

(協会事務局)
牛島　元嗣・中山　忠雄・木田　光良・山田　幸雄
大山　皓章

(渉外担当)
遊佐　義彦・小林　かおり・児玉　万里

(式典・賞典担当)
一関　祐次

(市民レース担当)
堀江　洋一郎・今福　守・板谷　治・五十嵐　誠
佐藤　奎嗣

(チーム担当)
五十嵐　毅彦・土屋　朋子・水口　利雄

(通訳)
バーネット　デイヴィット・松葉　盛重

(警備・コース担当)
伊藤　清治・安倍　明政・林　満・黒川　國夫・渡邊　勲
長谷　国男・夏伐　耕一・古田　文史・尾上　正典

(会場・車両担当)
澤田　順一・嶋崎　正美・荒野　廣・武田　正好・百瀬　堅

(交通対策担当)
嶋田　隆・柏木　康男

(オートバイエスコート)
高道　宏司・田中　隆

■広報委員長
加賀　雅実

■ 広報副委員長
遊佐　義彦

(広報担当)
山内　康史・芦田　千里

(集計・コミュニケ担当)
大脇　恒夫・堀江　洋一郎・島村　千樹・尾西　基樹
堅尾　大司・田中　勇次・灘　幸宏

■審判長
カルナラッネ　ナヴァラッネラジャ

■競技ディレクター
中村　雅章・小野　盛秀

■コミセールパネル
森尻　展充・菊池　津根徳・榎　正人・勝見　洋一

■審判員
中村　雅章・大脇　恒夫・森尻　展充・菊池　津根徳
榎　正人・藤森　信行・吉清水　一之・櫻澤　幸雄
加藤　善行・猿舘　貢・佐々木　弘一・佐々木　博
熊澤　準治・伊藤　勉・荒井　和弘・佐藤　有子
岡田　将太・綿貫　光子・蓼沼　和成・森本　聡
倉田　達樹・藤原　盛一・渡辺　知明・西川　一郎
假谷　豊・若生　宏・十時　正一郎・山本　正英
愛場　政広・田中　均・程原　邦夫・富和　清訓
中村　恭治・向井　資晴・権瓶　修也・善養寺　貴洋
徳舛　孝志・岡和田　真治・中安　基之・鈴木　暁
安江　かおり・小島　尚裕・勝見　洋一・長谷部　信一
近岡　紀子・寺田　稔・千葉　鶴也・播磨　和宏
石橋　旭・石垣　秀人・中井　豊・松井　一成・本間　豊明
平岡　雅史・柏原　順子・平出　剛一・大貫　勝豊
森合　直樹・和田　真宏・多田　憲弘・酒井　和彦
松田　茂・大場　博史・古舘　一也・蓮沼　英司
長谷　孝一・薮下　昌也・室井　文男・鶴田　数義
菊地　ひずる・笠原　弘則・岡部　克・岡部　美知子
増田　真幸・佐藤　久美子・志賀　あんり・池田　正二郎
池田　恭子・三浦　孝幸・賀来　淳二・近藤　良一
近田　俊夫・中野　良宣・寺井　英治・福島　剛
外崎　修・鴨川　敬・奥村　隆一・山口　博史・松藤　英紀
奥野　誠・佐々木　伸次・嶋木　勉

■リードドーピングコントロールオフィサー
本田　昭二

■ドーピングコントロールオフィサー
鈴木　靖・Myat Tun Oo

(アンチドービングシャペロン)
君家　裕紀・越田　悠介・亀谷　文乃・渡辺　郁美

(アンチドーピング担当)
里見　和三・溝口　征二

(医務担当医師)
山田　隆宏・青木　昌弘・本間　俊一・伊藤　秀行

(医務・医療担当)
松田　悦子・秋保　頼子・石川　敬子・出羽　寿恵
高柳　あゆみ・前田　裕子・牛首　律子・真田　英夫
逢坂　秀俊・川村　勝幸

■メカニック担当
坂東　晃・高橋　義彦・高宮　誠治・鎌田　道也

■補給地点担当
澤田　賢吉・松居　勝徳

■選手収容担当
五十嵐　毅彦・水口　利雄

2012　エントリーチーム

■ジェリーベリー・サイクリング（アメリカ）
JELLY BELLY CYCLING(THE UNITED STATES)

●監督／MANAGER
ヴァンホーテ ダニー　VAN HAUTE Danny
●メカニック／MECHANIC
メドロフ ラルフ　MEDLOFF Ralf
●マッサージャー／MASSAGER
ローソス ステファニー　ROUSSOS Stephanie

●選手／RIDER
ハフ チャールズ　HUFF Charles
オロンテ エマーソン　ORONTE Emerson
ヘルナンデス セルジオ　HERNANDEZ Sergio
ハミルトン ニック　HAMILTON Nic
ヴァンデルヴェルデ リカルド　VAN DER VERDE Ricardo

●補欠／REPLACEMENT…マズィク ショーン　MAZICH Sean　クリーク クリスチャン　KRIEK Christian

■ブリヂストンアンカーサイクリングチーム
BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM

●監督／MANAGER
宮崎 景涼　MIYAZAKI Keisuke
●コーチ／COACH
金田 正　KANADA Tadashi
●メカニック／MECHANIC
安見 正行　AMI Masayuki
●スタッフ／STAFF
西尾 孝政　NISHIO Takanori

●選手／RIDER
清水　都貴　SHIMIZU Miyataka
井上　和郎　INOUE Kazuo
西薗　良太　NISHIZONO Ryota
伊丹　健治　ITAMI Kenji
吉田　隼人　YOSHIDA Hayato

●補欠／REPLACEMENT…バービエ ルディ　BARBIER Rudy　ルバトマ　LEBAS Thomas

■ヴェロクラブ メンドリシオ（スイス）
VELO CLUB MENDRISIO(SWITZERLAND)

●監督／MANAGER
マラネシ アルフレド　MARANESI Alfredo
●コーチ／COACH
ニコレッティ ダリオ　NICOLETTI Dario
●メカニック／MECHANIC
中田 真琴　NAKATA Makoto

●選手／RIDER
オーベール ロイック　AUBERT Loic
アリエンティ アンドレ　ARIENTI Andrea
ビア オリヴァー　BEER Oliver
アイヒャー ティノ　EICHER Tino
フマガリ ダヴィデ　FUMAGALLI Davide

●補欠／REPLACEMENT…コルテシー ダミエン　CORTHESY Damien　パシープッティニ ロベルト　PASI-PUTTINI Roberto

■宇都宮ブリッツェン
UTSUNOMIYA BLITZEN

●監督／MANAGER
栗村 修　KURIMURA Osamu
●メカニック／MECHANIC
針谷 隆之　HARIGAI Takayuki
●トレーナー／TRAINER
高橋 英明　TAKAHASHI Hideaki

●選手／RIDER
廣瀬　佳正　HIROSE Yoshimasa
普久原　奨　FUKUHARA Masaru
飯野　智行　IINO Tomoyuki
増田　成幸　MASUDA Nariyuki
初山　翔　HATSUYAMA Sho

●補欠／REPLACEMENT…中村　誠　NAKAMURA Makoto　若杉 厚仁　WAKASUGI Atsuhito

■OCBCシンガポールコンチネンタルサイクリングチーム（シンガポール）
OCBC SINGAPORE CONTINENTAL CYCLING TEAM(SINGAPORE)

●監督／MANAGER
チェオン ウェイウェン ジャスティン　CHEONG WEIWEN Justin
●メカニック／MECHANIC
ロジミ ビン オマー　ROZIMI BIN Omar
●マッサージャー／MASSAGER
ロイ ダニエル　LOY Daniel

●選手／RIDER
ホー ジュンロン　HO Junrong
ハシム ジュナイデュル　HASHIM Junaidl
ロウ ジウェン　LOW Jiwen
マーティン マキシム フランソワ シルヴェイン　MARTIN Maxime Francois Sylvain
リム ティモシー　LIM Timothy

●補欠／REPLACEMENT…ロウ ダレン　LOW Darren　ゴウ チューン ファト　GOH Choon Huat

■シマノレーシングチーム
SHIMANO RACING TEAM

●監督／MANAGER
野寺 秀徳　NODERA Hidenori
●メカニック／MECHANIC
大久保 修一　OKUBO Shuichi
井筒 真人　IZUTSU Masato
●マッサージャー／MASSAGER
鳴島 孝至　NARUSHIMA Takashi

●選手／RIDER
鈴木　譲　SUZUKI Yuzuru
平塚　吉光　HIRATSUKA Yoshimitsu
入部正太朗　IRIBE Shotaro
野中　竜馬　NONAKA Ryoma
青柳　憲輝　AOYANAGI Kazuki

■ウズベキスタンナショナルチーム
UZBEKISTAN NATIONAL TEAM

●監督／MANAGER
イスカンダロフ ヴラディスラヴ　ISKANDAROV Vladislav
●スタッフ／STAFF
沢口 恵生　SAWAGUCHI Keisei

●選手／RIDER
ハルムラトフ ムラジャン　HALMURATOV Muradjan
シェキフ ヴァディム　SHAEKHPV Vadim
アルレコフ ユスプ　ABREKOV Yusup
ヴォリク コンスタンティン　VOLIK Konstantin
テュイチェフ ヴラディミール　TUYCHIEV Vladimir

●補欠／REPLACEMENT…シェイマノフ デニス　SHAYMANOV Denis　グメロフ ティムール　GUMEROV Timur
ゴルバチョフ グレブ　GORBACHEV Gleb

■マトリックスパワータグ
MATRIX POWERTAG

●監督／MANAGER
安原 昌弘　YASUHARA Masahiro
●メカニック／MECHANIC
中川 康二郎　NAKAGAWA Kojiro
●マッサージャー／MASSAGER
ベック ユルゲン　BECK Juergen
●スタッフ／STAFF
田中真美子/園田賢　TANAKA Mamiko/SONODA Ken

●選手／RIDER
ヴィズィアック マリウス　WIESIAK Mariusz
窪木　一茂　KUBOKI Kazushige
池部　壮太　IKEBE Sota
向川　尚樹　MUKAIGAWA Naoki
安原　大貴　YASUHARA Daiki

●補欠／REPLACEMENT…山下 貴宏　YAMASHITA Takahiro　小牧 祐也　KOMAKI Yuya

■キャノンデール・スペースゼロポイント
CANNONDALE SPACEZEROPOINT

●監督／MANAGER
佐藤 成彦　SATO Shigehiko
●メカニック／MECHANIC
和田 雄一　WADA Yuichi
●マッサージャー／MASSAGER
大谷 公貴　OTANI Hiroki

●選手／RIDER
小室　雅成　KOMURO Masanari
遠藤　績穂　ENDO Sekiho
原川　浩介　HARAKAWA Kosuke
高田　雄太　TAKADA Yuta
森本　誠　MORIMOTO Makoto

■チームNIPPO
TEAM NIPPO

●監督／MANAGER
大門 宏　DAIMON Hiroshi
●メカニック／MECHANIC
西 勉　NISHI Tsutomu
●マッサージャー／MASSAGER
斉藤 めぐみ　SAITO Megumi

●選手／RIDER
佐野　淳哉　SANO Junya
内間　康平　UCHIMA Kohei
バリアーニ フォルッナート　BALIANI Fortunato
リケーゼ マッシミリアーノ　RICHEZE Maximiliano
カンパニャーロ シモーネ　CAMPAGNARO Simone

●補欠／REPLACEMENT…リケーゼ マウロ アベル　RICHEZE Mauro Abel　小森 亮平　KOMORI Ryohei

2012　エントリーチーム

■チーム右京
TEAM UKYO

●監督／MANAGER
加藤 紀代子　KATO Kiyoko
●メカニック／MECHANIC
河野 健一　KONO Kenichi
●マッサージャー／MASSAGER
坂野 修一　SAKANO Shuichi
●スタッフ／STAFF
片山右京/伊藤 武　KATAYAMA Ukyo/ITO Takeshi

●選手／RIDER
狩野　智也　KANO Tomoya
倉林　巧和　KURABAYASHI Takuto
辻　　善光　TSUJI Yoshimitsu
斉藤　祥太　SAITO Shota
嶌田　義明　SHIMADA Yoshiaki

●補欠／REPLACEMENT…清水 良行　SHIMIZU Yoshiyuki

■中央大学
CHUO UNIVERSITY

●監督／MANAGER
添田 広福　SOEDA Hiroyoshi
●コーチ／COACH
高島 豪　TAKASHIMA Go
●メカニック／MECHANIC
有川 光吏　ARIKAWA Hikari

●選手／RIDER
郡司　昌紀　GUNJI Masaki
山本　　隼　YAMAMOTO Shun
緑川　竣一　MIDORIKAWA Shunichi
黒瀬　耕平　KUROSE Kohei
神開　一輝　SHINKAI Kazuki

●補欠／REPLACEMENT…北川 明人　KITAGAWA Akito　金内 一行　KANEUCHI Ikko

■パールイズミ・スミタ・ラバネロ
PEARL IZUMI SUMITA RAVANELLO

●監督／MANAGER
高村 精一　TAKAMURA Seiichi
●メカニック／MECHANIC
齋藤 健吾　SAITO Kengo
●マッサージャー／MASSAGER
高村 香代子　TAKAMURA Kayoko
●スタッフ／STAFF
仙波真人/保東透/佐藤勝喜　SENBA Masato/HOTO Toru/SATO Katsuyoshi

●選手／RIDER
栂尾　大知　TOGAO Daichi
大久保　陣　OKUBO Jin
藤岡　克磨　FUJIOKA Kttsuma
上村　領佑　UEMURA Ryosuke
高塚　亮輔　TAKATSUKA Ryosuke

●補欠／REPLACEMENT…鈴木 近成　SUZUKI Motonari　小段 亮　KODAN Ryo

■順天堂大学
JUNTENDO UNIVERSITY

●監督／MANAGER
手嶋 敏光　TESHIMA Toshimitsu
●コーチ／COACH
中村 匠/彫本 静夫　NAKAMURA Takumi/KATAMOTO Shizuo
●コーチ／COACH
村出 真一朗　MURADE Shinichiro
●サポート／SUPPORT
西尾 勇人　NISHIO Hayato

●選手／RIDER
中尾　佳祐　NAKAO Keisuke
布施　　光　FUSE Hikaru
辻本　尚希　TSUJIMOTO Naoki
穂積　昂佑　HOZUMI Kosuke
石原　裕也　ISHIHARA Yuya

■シエルヴォ 奈良 プロサイクリングチーム
CIERVO NARA PRO CYCLING TEAM

●監督／MANAGER
辻 正光　TSUJI Masamitsu
●コーチ／COACH
岩田 知夏　IWATA Chinatsu
●マッサージャー／MASSAGER
岡 瑛彦　OKA Teruhiko

●選手／RIDER
辻　　貴光　TSUJI Takamitsu
日置　大介　HIOKI Daisuke
中西　重智　NAKANISHI Shigetomo
前園　浩平　MAEZONO Kohei
河賀　雄大　KAGA Yudai

●補欠／REPLACEMENT…澤田 賢匠　SAWADA Kensho　太田 大揮　OTA Daiki

■日本大学
NIHON UNIVERSITY

●監督／MANAGER
井上 由大　INOUE Yoshihiro
●コーチ／COACH
猪瀬 昇太　INOSE Shota
●メカニック／MECHANIC
高宮 佑介　TAKAMIYA Yusuke
●マッサージャー／MASSAGER
大庭 尚也　OBA Naoya

●選手／RIDER
雨宮　正樹　AMEMIYA Masaki
板橋　義浩　ITABASHI Yoshihiro
住吉　宏太　SUMIYOSHI Kota
和田　　力　WADA Chikara
清水　啓佑　SHIMIZU Keisuke

●補欠／REPLACEMENT…久保田 元気　KUBOTA Genki　馬場 博之　BABA Hiroyuki

■北海道地域選抜
SELECTED HOKKAIDO

●監督／MANAGER
坂上 信也　SAKAGAMI Shinya
●コーチ／COACH
川勝 康弘　KAWAKATSU Yasuhiro
●メカニック／MECHANIC
風間 貴之　KAZAMA Takayuki
●マッサージャー／MASSAGER
内山 剛　UCHIYAMA Go

●選手／RIDER
バークハウス ブライアン　BARKHOUSE Brian
松田　　究　MATSUDA Kiwamu
大坪　優介　OTSUBO Yusuke
三輪　俊史　MIWA Toshifumi
吉村　拓斗　YOSHIMURA Takuto

●補欠／REPLACEMENT…永田 友貴　NAGATA Yuki

■鹿屋体育大学
NIFS IN KANOYA

●監督／MANAGER
黒川 剛　KUROKAWA Takeshi
●メカニック／MECHANIC
脇野 栄治　WAKINO Eiji
●マッサージャー／MASSAGER
山道 晶子　YAMAMICHI Shoko
●スタッフ／STAFF
福井 響　FUKUI Hibiki

●選手／RIDER
黒枝　士揮　KUROEDA Shiki
山本　元喜　YAMAMOTO Genki
高宮　正嗣　TAKAMIYA Masatsugu
石橋　　学　ISHIBASHI Manabu
徳田　鍛造　TOKUDA Tanzo

●補欠／REPLACEMENT…原田 裕成　HARADA Hiroaki　長瀬 幸治　NAGASE Koji

■京都産業大学
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

●監督／MANAGER
大内 薫　OUCHI Kaoru
●メカニック／MECHANIC
中村 一樹　NAKAMURA Kazuki

●選手／RIDER
鍵本　大地　KAGIMOTO Daichi
服部　昇平　HATTORI Shohei
木村　圭佑　KIMURA Keisuke
吉岡　直哉　YOSHIOKA Naoya
谷口　武史　TANIGUCHI Takeshi

●補欠／REPLACEMENT…田中 佑　TANAKA Yu　南野 求　MINAMINO Motomu

2012
開会式
OPENING CEREMONY

9/15(土)　旭川市 春光台公園

９月15日午前９時00分からツール・ド・北海道2012のスタート会場である旭川市春光台公園で開催された。
今年は海外から４チーム、国内から15チームと合わせて19チーム95名の選手で競技が行われた。
参加チームの選手、役員、大会関係者一同は、和やかな雰囲気にも、開会式終了後、同場所から第１ステージ、旭川市から当麻町までの１５９Ｋｍのロードレースがスタートすることから緊張感が漂う開会式になった。

北海道カップ返還　チームNIPPO　佐野　淳也

主催者挨拶　綿貫　民輔 総裁

チーフコミセール
カルナラッネ ナヴァラッネラジャ

選手宣誓
チームNIPPO　佐野　淳也

来賓

開会式会場

役員

選手

第1ステージ Stage 1

旭川市 ►► 当麻町

●159Kmロードレース
●9:45～13:37

■レースの概要

午前９時からの旭川市春光台公園での開会式に引き続いて、最高気温30度、天候晴の中、午前９時45分、19チーム95名が一斉にスタート。159㎞の中距離コース。旭川市江丹別峠最初のKOMは、ジェリーベリー・サイクリングのハミルトン ニックが１位で通過、幌加内町HSを通過後、比較的平坦な田園地帯の中、集団を形成したまま、剣淵町HSでは小中学生のチアガールや太鼓が入った大声援を受け、士別市上士別FZを抜ける。二つ目の山岳ポイント士別市於鬼頭トンネルKOMでは、マトリックスパワータグの窪木一茂が１位で抜け、集団形成は変わらずそのままゴールへと向かう。直前で落車があったが、60名の大集団で当麻町にフィニッシュし、ゴールスプリントを制したのは、鹿屋体育大学の黒枝士揮だった。第24回大会の同大学山本元喜以来の快挙となった。個人総合時間賞、総合ポイント賞及びU23賞は黒枝士揮、総合山岳賞はジェリーベリー・サイクリングのハミルトン ニックがそれぞれリーダージャージを獲得した。団体総合はジェリーベリー・サイクリングが首位に立った。

スターター　綿貫　民輔 総裁

第1ステージスタート（旭川市春光台公園）

歓迎の挨拶
菊川　健一 当麻町長

個人区間表彰　　１位 黒枝選手（鹿屋体育大学）
２位 リケーゼ選手（チームNIPPO）　　３位 鈴木選手（シマノレーシング）

応援団

個人区間順位　１位
個人区間順位（U23）　１位
個人総合時間順位　１位
個人総合ポイント賞　１位
黒枝選手（鹿屋体育大学）

個人総合山岳賞　１位
ハミルトン選手
（ジェリーベリー・サイクリング）

Stage1　競技結果

■個人区間順位
1位　黒枝士揮（鹿屋体育大学）3:56:19
2位　リケーゼ マッシリミリアーノ（チームNIPPO）
3位　鈴木　譲（シマノレーシング）

■個人区間順位（U23）
1位　黒枝士揮（鹿屋体育大学）

■個人総合時間順位
1位　黒枝士揮（鹿屋体育大学）
2位　リケーゼ マッシリミリアーノ（チームNIPPO）
3位　シェイマノフデニス（ウズベキスタンナショナルチーム）

■個人総合ポイント賞
1位　黒枝士揮（鹿屋体育大学）

■個人総合山岳賞
1位　ハミルトン ニック（ジェリーベリー･サイクリング）

■団体総合時間賞
1位　ジェリーベリー･サイクリング
2位　シマノレーシング
3位　日本大学

剣淵屯田太鼓の皆さん

剣淵町ジュニアチアリーディングクラブの皆さん

第2ステージ Stage 2

当麻町 ►► 美瑛町

●159Kmロードレース
●9:20～13:11

■レースの概要
　昨日とは一転して最高気温22度と大幅に下がり、小雨の中、午前９時20分、19チーム90名でスタート。距離は第１ステージと同じく159㎞。最初のパレード区間でJR踏切を横断、馬上からの応援も加わり、多くの町民の声援を受けながら東川町HSを通過、今ステージ最高峰の十勝岳KOMはブリヂストーンアンカーサイクリングチームの井上和郎が１位で通過、区間山岳賞を獲得、上富良野町HSの後はアップダウンの続く美瑛の丘で集団を形成しながら、残り５㎞で６人が抜け出し、最後は、チームNIPPOのリケーゼ マッシミリアーノがゴールスプリントを制し区間１位となった。U23賞は順天堂大学の中尾圭祐が区間１位。個人総合時間賞と総合ポイント賞はチームNIPPOのリケーゼ マッシミリアーノ、総合山岳賞はジェリーベリー・サイクリングのハミルトン ニック、総合U23賞は順天堂大学の中尾圭祐がそれぞれリーダージャージを獲得した。団体総合は宇都宮ブリッツエンが首位に躍り出た。

スターター
　菊川　健一 当麻町長

第２ステージスタート（当麻町役場前）

歓迎の挨拶
　浜田　哲 美瑛町長

個人区間表彰　　１位 リケーゼ選手（チームNIPPO）
２位 西園選手　　３位 増田選手（宇都宮ブリッツエン）
（ブリヂストンアンカーサイクリングチーム）

Stage2　競技結果

■個人区間順位
1位　リケーゼ マッシリミリアーノ（チームNIPPO）4:00:28
2位　西園良太（ブリヂストンアンカーサイクリングチーム）
3位　増田成幸（宇都宮ブリッツエン）

■個人区間順位（U23）
1位　中尾佳祐（順天堂大学）4:00:43

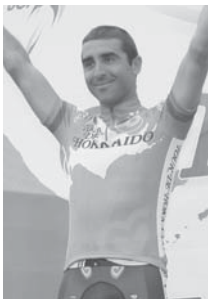
■個人区間山岳順位
1位　井上和郎（ブリヂストンアンカーサイクリングチーム）

■個人総合時間順位
1位　リケーゼ マッシリミリアーノ（チームNIPPO）
2位　西園良太（ブリヂストンアンカーサイクリングチーム）
3位　増田成幸（宇都宮ブリッツエン）

■個人総合ポイント賞
1位　リケーゼ マッシリミリアーノ（チームNIPPO）

■個人総合山岳賞
1位　ハミルトン ニック（ジェリーベリー･サイクリング）

■団体総合時間賞
1位　宇都宮ブリッツテン
2位　ブリヂストンアンカーサイクリングチーム
3位　チームNIPPO



個人区間順位　1位
個人総合時間順位　1位
個人総合ポイント賞　1位
リケーゼ選手
（チームNIPPO）

個人区間順位（U23）1位
中尾選手
（順天堂大学）

個人区間山岳賞　1位
井上選手
（ブリヂストンアンカー
サイクリングチーム）

個人総合山岳賞　1位
ハミルトン選手
（ジェリーベリー・
サイクリング）

第3ステージ Stage 3

美瑛町 ►► 札幌市

●198Kmロードレース
●9:30～14:22

■レースの概要

最終日は、最高気温25度曇りの中、午前９時30分、19チーム73名でスタート。198kmと今大会最長の距離。美瑛、富良野の丘陵地帯を走行し、美瑛町KOMでは、ジェリーベリー・サイクリングのハミルトン ニックが再び１位で通過、平坦な国道に出てからも大集団を形成しながら赤平市HSを通過、新十津川町FZを過ぎてからも各チームとも予測時間を大幅に上回るハイペースで走行、当別町KOMは、ウズベキスタン・ナショナルチームのハルムラトフ ムラジャンが１位となった。海岸線に出て、石狩河口橋を過ぎてからは一気にゴールを目指し、更にスピードが上がり、35人の集団でフィニッシュし、チームNIPPOのリケーゼ マッシミリアーノが第２ステージに引き続いて区間１位となった。U23賞は日本大学の雨宮正樹が区間１位、山岳賞はジェリーベリー・サイクリングのハミルトン ニックが区間１位となった。

スターター
浜田　哲 美瑛町長

第３ステージスタート（美瑛町丸山公園）

石狩市厚田区付近

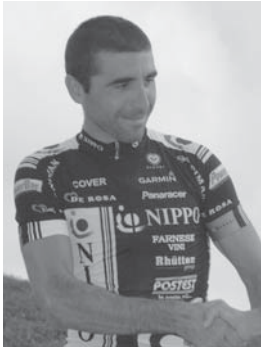
個人区間表彰
１位 リケーゼ選手（チームNIPPO）
２位 ハミルトン選手
（ジェリーベリー・サイクリング）
３位 小室選手
（キャノンデール・スペースゼロポイント）

Stage3　競技結果

■個人区間順位
1位　リケーゼ マッシリミリアーノ（チームNIPPO）4:38:32
2位　ハミルトン ニック（ジェリーベリー・サイクリング）
3位　小室雅成（キャノンデール・スペースゼロポイント）

■個人区間順位（U23）
1位　雨宮正樹（日本大学）

■個人区間山岳順位
1位　ハミルトン ニック（ジェリーベリー・サイクリング）



個人区間順位　１位
リケーゼ選手
（チームNIPPO）

個人区間順位（U23）　１位
雨宮選手
（日本大学）

個人区間山岳賞　１位
ハミルトン選手
（ジェリーベリー・サイクリング）

2012 最終表彰式
OVERALL AWARDS

9/17(月・祝)　札幌市 モエレ沼公園

９月17日（月）15時40分からツール・ド・北海道2012の最終表彰式が国土交通省、北海道、札幌市から来賓を迎え、モエレ沼公園特設会場で開催された。

高橋稔久札幌市観光文化局スポーツ担当局長の歓迎の挨拶に引き続き表彰式が行われ、結果は個人総合時間賞と個人総合ポイント賞はチームNIPPOのリケーゼ マッシミリアーノ、個人総合山岳賞はジェリーベリー・サイクリングのハミルトン ニック、佐藤杯個人総合U23賞は順天堂大学の中尾佳祐が制し、それぞれリーダージャージを獲得した。団体総合時間賞は第23回大会初参加以来初めて宇都宮ブリッツエンが手にした。表彰式では、佐藤杯（U23個人総合時間賞）は、勇崎恒也大会実行委員長、団体総合時間賞は、小西昭国土交通省大臣官房審議官、個人総合山岳賞は、高橋稔久札幌市観光文化局スポーツ担当局長、個人総合ポイント賞は、山田享北海道環境生活部文化・スポーツ担当局長がそれぞれ授与した。

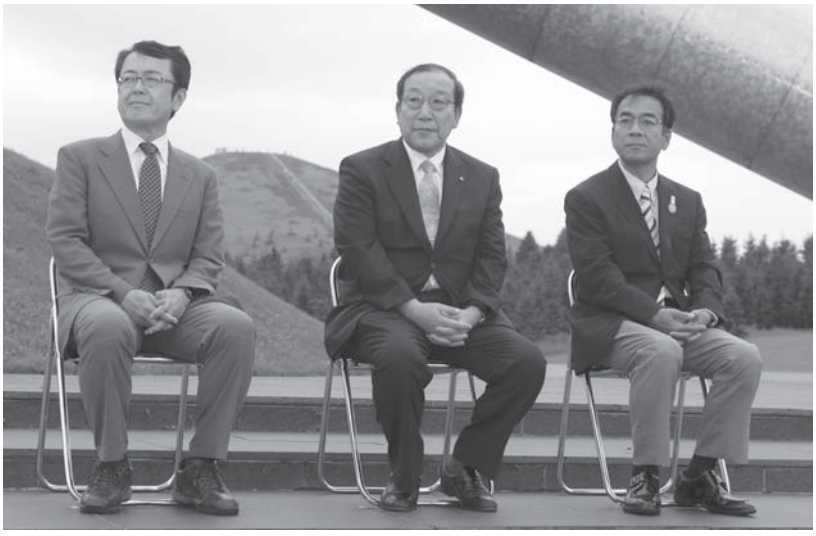
また、最高の栄誉とされている個人総合時間賞と北海道カップは、山本隆幸大会長からリケーゼ　マッシリミリアーノ（チームＮＩＰＰＯ）に手渡された。最後に同山本大会長の主催者挨拶で第26回ツール・ド・北海道2012が終了した。

最終表彰式会場

山本隆幸大会長挨拶

大会役員

高橋　稔 札幌市観光文化局スポーツ担当局長


来賓

●総合（最終）成績●

個人総合時間順位
1位　リケーゼ　マッシリミリアーノ(チームNIPPO)12:34:49
2位　西園良太(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
3位　窪木一茂(マトリックスパワータグ)
4位　増田成幸(宇都宮ブリッツエン)
5位　ハミルトン　ニック(ジェリーベリー・サイクリング)
6位　飯野智行(宇都宮ブリッツテンチーム)
7位　伊丹健治(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
8位　鈴木譲(シマノレーシング)
9位　井上和郎(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
10位　マーティン マキシム フランソワ シルヴェイン(OCBシンガポール)

個人総合ポイント順位
1位　リケーゼ マッシリミリアーノ(チームNIPPO)
2位　窪木一茂(マトリックスパワータグ)
3位　ハミルトン　ニック(ジェリーベリー・サイクリング)

個人総合山岳賞
1位　ハミルトン　ニック(ジェリーベリー・サイクリング)
2位　井上和郎(ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
3位　窪木一茂(マトリックスパワータグ)

団体総合時間順位
1位　宇都宮ブリッツエン…37時間46分12秒
2位　ブリヂストンアンカーサイクリングチーム…37時間46分17秒
3位　チームNIPPO…37時間47分00秒

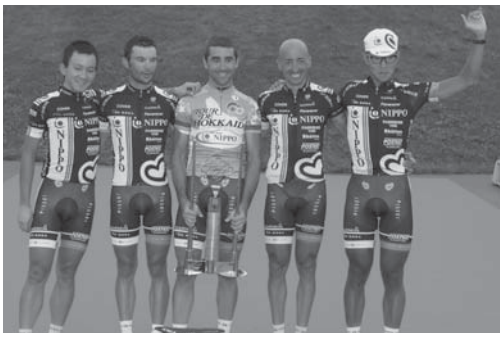
佐藤杯 個人総合時間順位(U23)
1位　中尾佳祐(順天堂大学) 12:35:34
2位　雨宮正樹(日本大学)
3位　山本　隼(中央大学)

団体総合時間
1位 宇都宮ブリッツエン
2位 ブリヂストンアンカーサイクリングチーム
3位 チームNIPPO

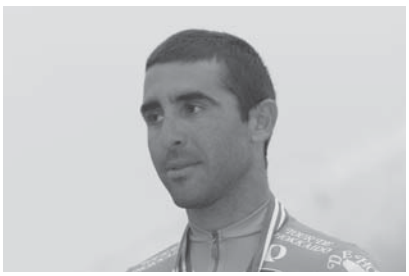
団体総合時間1位 宇都宮ブリッツエン

個人総合時間
1位 リケーゼ マッシリミアーノ
（チームNIPPO）
2位 西薗 良太
（ブリヂストンアンカーサイクリングチーム）
3位 窪木 一茂
（マトリックスパワータグ）

団体総合時間2位 ブリヂストンアンカーサイクリングチーム



団体総合時間3位 チームNIPPO



個人総合時間賞・個人総合ポイント賞
リケーゼ マッシリミアーノ
（チームNIPPO）

個人総合時間（U23）1位
中尾佳祐
（順天堂大学）

個人総合山岳賞
ハミルトン ニック
（ジェリーベリー・サイクリング）

ツール・ド・北海道2012 スタッフ

2012 最終成績
SYNTHETIC RESULTS

TOUR DE HOKKAIDO 2012

個人総合時間賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total+Top	U23
1	4	リケーゼ　マッシミリアーノ	チームNIPPO	12:34'49"00'00"	
2	73	西　薗　良　太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:35'11"00'22"	
3	62	窪　木　一　茂	マトリックスパワータグ	12:35'12"00'23"	
4	94	増　田　成　幸	宇都宮ブリッツェン	12:35'15"00'26"	
5	14	ハミルトン　ニック	ジェリーベリー・サイクリング	12:35'18"00'29"	
6	93	飯　野　智　行	宇都宮ブリッツェン	12:35'19"00'30"	
7	74	伊　丹　健　治	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:35'24"00'35"	
8	81	鈴　木　　譲	シマノレーシング	12:35'28"00'39"	
9	72	井　上　和　郎	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:35'31"00'42"	
10	34	マーティン　マキシム　フランソワ　シルヴェイン	OCBCシンガポール	12:35'33"00'44"	
11	75	吉　田　隼　人	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:35'34"00'45"	
12	13	マズィク　ショーン	ジェリーベリー・サイクリング	12:35'34"00'45"	
13	101	中　尾　佳　祐	順天堂大学	12:35'34"00'45"	1
14	181	雨　宮　正　樹	日本大学	12:35'34"00'45"	2
15	95	初　山　　翔	宇都宮ブリッツェン	12:35'34"00'45"	
16	152	遠　藤　績　穂	キャノンデール・スペースゼロポイント	12:35'34"00'45"	
17	111	狩　野　智　也	チーム右京	12:35'34"00'45"	
18	155	森　本　　誠	キャノンデール・スペースゼロポイント	12:35'34"00'45"	
19	71	清　水　都　貴	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	12:35'34"00'45"	
20	172	山　本　　隼	中央大学	12:35'34"00'45"	3
21	92	普久原　　奨	宇都宮ブリッツェン	12:35'43"00'54"	
22	1	佐　野　淳　哉	チームNIPPO	12:35'45"00'56"	
23	3	バリアーニ　フォルッナート	チームNIPPO	12:35'56"01'07"	
24	15	ヴァンデルヴェルデ　リカルド	ジェリーベリー・サイクリング	12:37'40"02'51"	
25	55	徳　田　鍛　造	鹿屋体育大学	12:37'53"03'04"	4
26	171	郡　司　昌　紀	中央大学	12:39'25"04'36"	5
27	52	山　本　元　喜	鹿屋体育大学	12:42'54"08'05"	6
28	43	アルレコフ　ユスプ	ウズベキスタン・ナショナルチーム	12:44'19"09'30"	
29	82	平　塚　吉　光	シマノレーシング	12:45'33"10'44"	
30	151	小　室　雅　成	キャノンデール・スペースゼロポイント	12:46'08"11'19"	
31	23	ビア　オリヴァー	ヴェロクラブ・メンドリシオ	12:46'12"11'23"	
32	182	板　橋　義　浩	日本大学	12:46'12"11'23"	7
33	84	野　中　竜　馬	シマノレーシング	12:46'12"11'23"	
34	184	和　田　　力	日本大学	12:46'22"11'33"	8
35	51	黒　枝　士　揮	鹿屋体育大学	12:47'10"12'21"	9
36	132	大久保　　陣	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	12:47'31"12'42"	
37	91	廣　瀬　佳　正	宇都宮ブリッツェン	12:47'31"12'42"	
38	24	アイヒャー　ティノ	ヴェロクラブ・メンドリシオ	12:47'31"12'42"	
39	12	オロンテ　エマーソン	ジェリーベリー・サイクリング	12:47'31"12'42"	
40	42	シェキフ　ヴァディム	ウズベキスタン・ナショナルチーム	12:47'31"12'42"	
41	115	嶌　田　義　明	チーム右京	12:47'31"12'42"	
42	164	吉　岡　直　哉	京都産業大学	12:47'31"12'42"	10
43	175	神　開　一　輝	中央大学	12:47'40"12'51"	11
44	31	ホー　ジュンロン	OCBCシンガポール	12:47'40"12'51"	
45	41	ハルムラトフ　ムラジャン	ウズベキスタン・ナショナルチーム	12:47'49"13'00"	
46	61	ヴィズィアック　マリウス	マトリックスパワータグ	12:47'53"13'04"	
47	133	藤　岡　克　磨	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	12:48'44"13'55"	12
48	63	池　部　壮　太	マトリックスパワータグ	12:49'55"15'06"	13
49	112	倉　林　巧　和	チーム右京	12:53'00"18'11"	14
50	44	シェイマノフ　デニス	ウズベキスタン・ナショナルチーム	12:55'30"20'41"	
51	143	大　坪　優　介	北海道地域選抜	12:55'35"20'46"	
52	145	吉　村　拓　斗	北海道地域選抜	12:55'35"20'46"	
53	105	石　原　裕　也	順天堂大学	12:55'35"20'46"	15
54	125	河　賀　雄　大	シエルヴォ奈良プロサイクリングチーム	12:56'54"22'05"	16
55	183	住　吉　宏　太	日本大学	12:57'01"22'12"	17
56	185	清　水　啓　佑	日本大学	12:57'01"22'12"	18
57	103	辻　本　尚　希	順天堂大学	12:57'01"22'12"	19
58	173	緑　川　竣　一	中央大学	12:57'01"22'12"	20
59	104	穂　積　昂　佑	順天堂大学	12:57'01"22'12"	21
60	163	木　村　圭　佑	京都産業大学	12:57'01"22'12"	22
61	122	日　置　大　介	シエルヴォ奈良プロサイクリングチーム	12:57'01"22'12"	
62	83	入　部　正太朗	シマノレーシング	12:57'10"22'21"	
63	5	カンパニャーロ　シモーネチーム	チームNIPPO	12:57'13"22'24"	
64	123	中　西　重　智	シエルヴォ奈良プロサイクリングチーム	12:59'50"25'01"	23
65	25	フマガリ　ダヴィデ	ヴェロクラブ・メンドリシオ	13:01'32"26'43"	
66	11	ハフ　チャールズ	ジェリーベリー・サイクリング	13:03'34"28'45"	
67	134	上　村　領　佑	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	13:06'22"31'33"	24

■個人総合ポイント賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total
1	4	リケーゼ　マッシミリアーノ	チームNIPPO	76
2	62	窪　木　一　茂	マトリックスパワータグ	41
3	14	ハミルトン　ニック	ジェリーベリー・サイクリング	38
4	73	西　薗　良　太	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	28
5	75	吉　田　隼　人	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	27
6	51	黒　枝　士　揮	鹿屋体育大学	25
7	151	小　室　雅　成	キャノンデール・スペースゼロポイント	25
8	81	鈴　木　　譲	シマノレーシング	24
9	13	マズィク　ショーン	ジェリーベリー・サイクリング	22
10	94	増　田　成　幸	宇都宮ブリッツェン	19
11	132	大久保　　陣	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	18
12	15	ヴァンデルヴェルデ　リカルド	ジェリーベリー・サイクリング	15
13	93	飯　野　智　行	宇都宮ブリッツェン	14
14	181	雨　宮　正　樹	日本大学	12
15	91	廣　瀬　佳　正	宇都宮ブリッツェン	12
16	74	伊　丹　健　治	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	10
17	183	住　吉　宏　太	日本大学	10
18	5	カンパニャーロ　シモーネ	チームNIPPO	10
19	44	シェイマノフ　デニス	ウズベキスタン・ナショナルチーム	8
20	1	佐　野　淳　哉	チームNIPPO	8
21	72	井　上　和　郎	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	6
22	101	中　尾　佳　祐	順天堂大学	6
23	184	和　田　　力	日本大学	5
24	34	マーティン　マキシム　ランソワ　シルヴェイン	OCBCシンガポール	3
25	95	初　山　　翔	宇都宮ブリッツェン	3
26	133	藤　岡　克　磨	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	3
27	152	遠　藤　績　穂	キャノンデール・スペースゼロポイント	2
28	82	平　塚　吉　光	シマノレーシング	2
29	52	山　本　元　喜	鹿屋体育大学	1
30	115	嶌　田　義　明	チーム右京	1
31	25	フマガリ　ダヴィデ	ヴェロクラブ・メンドリシオ	1

■個人総合山岳賞

Pl.	Num	選手名	チーム名	Total
1	14	ハミルトン　ニック	ジェリーベリー・サイクリング	21
2	72	井　上　和　郎	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	15
3	62	窪　木　一　茂	マトリックスパワータグ	9
4	34	マーティン　マキシム　ランソワ　シルヴェイン	OCBCシンガポール	8
5	52	山　本　元　喜	鹿屋体育大学	8
6	1	佐　野　淳　哉	チームNIPPO	6
7	41	ハルムラトフ　ムラジャン	ウズベキスタン・ナショナルチーム	5
8	81	鈴　木　　譲	シマノレーシング	5
9	5	カンパニャーロ　シモーネ	チームNIPPO	4
10	3	バリアーニ　フォルッナート	チームNIPPO	2
11	74	伊　丹　健　治	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	1
12	71	清　水　都　貴	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	1

■団体総合時間賞

Pl.	チーム名	Total	Behind
1	宇都宮ブリッツェン	37:46'12"	
2	ブリヂストンアンカーサイクリングチーム	37:46'17"	0:00'05"
3	チームNIPPO	37:47'00"	0:00'48"
4	ジェリーベリー・サイクリング	37:48'41"	0:02'29"
5	キャノンデール・スペースゼロポイント	37:54'38"	0:08'26"
6	中央大学	38:02'39"	0:16'27"
7	シマノレーシング	38:07'19"	0:21'07"
8	鹿屋体育大学	38:07'58"	0:21'46"
9	日本大学	38:08'08"	0:21'56"
10	マトリックスパワータグ	38:11'40"	0:25'28"
11	チーム右京	38:16'05"	0:29'53"
12	ウズベキスタン・ナショナルチーム	38:18'20"	0:32'08"
13	順天堂大学	38:24'09"	0:37'57"
14	ヴェロクラブ・メンドリシオ	38:35'15"	0:49'03"
15	パールイズミ・スミタ・ラバネロ	38:42'36"	0:56'24"
16	シエルヴォ奈良プロサイクリングチーム	38:50'56"	1:04'44"
－	OCBCシンガポール		
－	北海道地域選抜		
－	京都産業大学		

2012 市民レース
CITIZEN RACE

■個人タイムトライアル
Individual time trial

9/15(sat)　美瑛町

・美瑛町丸山公園特設コース‥‥ 1.2Km
・歓迎の挨拶・スターターは塚田聡仁美瑛町副町長

■コース図

成績一覧

●1クラス JCF登録　エリート

順位	ナンバー	氏　名	都道府県	タイム
1	25	中　村　龍太郎	長野県	1:26:16
2	23	斉　藤　　敦	東京都	1:26:20
3	12	今　田　裕　一	神奈川県	1:28:50

●2クラス/上級　S-2

1	139	万　年　尚　人	北海道	1:31:03
2	129	久保田　　良	北海道	1:31:27
3	125	鈴　木　一　平	北海道	1:32:29

●3クラス/中級　S-3

1	209	芦　沢　右　史	北海道	1:32:19
2	211	加　藤　明　豊	愛知県	1:32:57
3	234	野　呂　武　史	北海道	1:32:85

●4クラス/40歳未満　S-4

1	433	畠　瀬　大　樹	北海道	1:34:28
2	459	長谷川　祐　一	北海道	1:35:55
3	422	種　村　之　宏	北海道	1:35:72

●5クラス/55歳未満　S-5

1	613	竹　脇　　睦	北海道	1:34:97
2	631	斉　藤　祐　介	北海道	1:36:01
3	616	小　野　由紀光	北海道	1:38:48

●6クラス/55歳以上　M

1	811	田　中　　朗	北海道	1:38:97
2	809	駒　谷　　修	北海道	1:39:81
3	807	柏　井　健　一	埼玉県	1:39:99

●7クラス/一般女子　L

1	1008	奥　井　　迪	北海道	1:38:38
2	1003	米　田　和　美	北海道	1:40:72
3	1006	松　田　千　裕	千葉県	1:50:15

●8クラス/高校男子　J

1	904	河　津　賢　人	熊本県	1:30:80
2	911	中　谷　優　介	北海道	1:32:49
3	905	藤　田　快　斗	北海道	1:33:71

●8-1クラス/高校女子

1	951	池　田　ゆめこ	北海道	1:44:08

●9クラス/中学男子　C-1

1	1104	中　川　　拳	北海道	1:32:60
2	1107	竹　村　　拓	大阪府	1:35:09
3	1103	奥　場　勝　利	北海道	1:35:97

●10クラス/中学女子　CL

1	1201	Madaffari　Nicole	北海道	2:00:71

●11クラス/小学5･6年　C-2

1	1304	木　綿　宏　太	北海道	1:48:71
2	1303	Vincent　Madaffsri	北海道	1:55:41
3	1301	小　堀　敢　太	北海道	1:57:06

●12クラス/小学3･4年　C-3

1	1401	中　谷　研　斗	北海道	1:58:35
2	1404	後　藤　瞬　良	北海道	2:05:08
3	1403	木　綿　啓　太	北海道	2:05:23

●13クラス/小学1･2年　C-4

1	1504	山　田　祐　輝	北海道	2:16:23
2	1503	中　田　　空	北海道	2:17:43
3	1502	松　山　由　依	北海道	2:34:99

2012 市民レース
CITIZEN RACE

■ロードレース
Road Race

9/16(sun) 当麻町・東川町・美瑛町～美瑛町

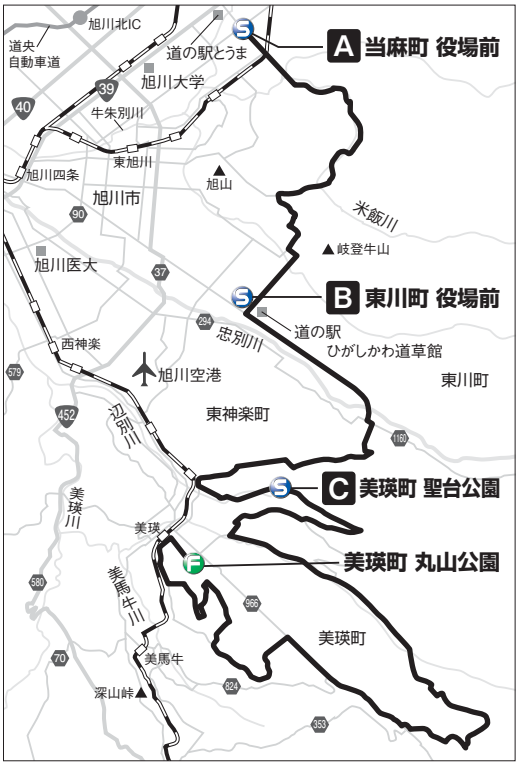
A当麻町(役場前)～美瑛町(丸山公園)…107Km
・歓迎の挨拶、スターターは菊川健一 当麻町長

B東川町(役場前)～美瑛町(丸山公園)…87Km
・歓迎の挨拶、スターターは松岡市郎 東川町長

C美瑛町(聖台公園)～美瑛町(丸山公園)…62Km

■プレゼンターは浜田 哲 美瑛町長

■コース図



成績一覧

●1クラス JCF登録 エリート

順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム
1	25	中村 龍太郎	長野県	2:50:02
2	12	今田 裕一	神奈川県	2:50:02
3	24	青木 峻二	千葉県	2:50:03

●2クラス/上級 S-2

1	114	鶴岡 聖隆	千葉県	2:52:02
2	143	飛田 俊彦	埼玉県	2:52:03
3	132	清水 乾	北海道	2:52:05

●3クラス/中級 S-3

1	211	加藤 昭豊	愛知県	2:21:44
2	234	野呂 武志	北海道	2:21:44
3	286	今井 太郎	北海道	2:21:46

●4クラス/40歳未満 S-4

1	500	栗山 孝	北海道	2:23:01
2	404	磯部 悟	北海道	2:24:13
3	434	伊藤 一雄	北海道	2:24:40

●5クラス/55歳未満 S-5

1	613	竹脇 睦	北海道	1:47:45
2	618	岩渕 敏樹	北海道	1:47:45
3	608	佐々木 章人	北海道	1:48:12

●6クラス/55歳以上 M

1	844	生島 則明	北海道	1:49:51
2	802	小島 五郎	北海道	1:49:51
3	820	滝口 勇二	北海道	1:50:00

●7クラス/一般女子 L

1	1003	米田 和美	北海道	1:46:01
2	1008	奥井 迪	北海道	1:47:44
3	1010	橋本 佳苗	北海道	1:48:29

●8クラス/高校男子 J

1	902	孫崎 大樹	大阪府	2:50:02
2	906	西尾 憲人	北海道	2:53:55
3	904	河津 賢人	熊本県	2:55:17

●8-1クラス/高校女子

1	951	池田 ゆめこ	北海道	1:51:58

●9クラス/中学男子 C-1

1	1104	中川 拳	北海道	1:42:03
2	1103	奥場 勝利	北海道	1:44:23
3	1107	竹村 拓	大阪府	1:44:24

2012 市民レース
CITIZEN RACE

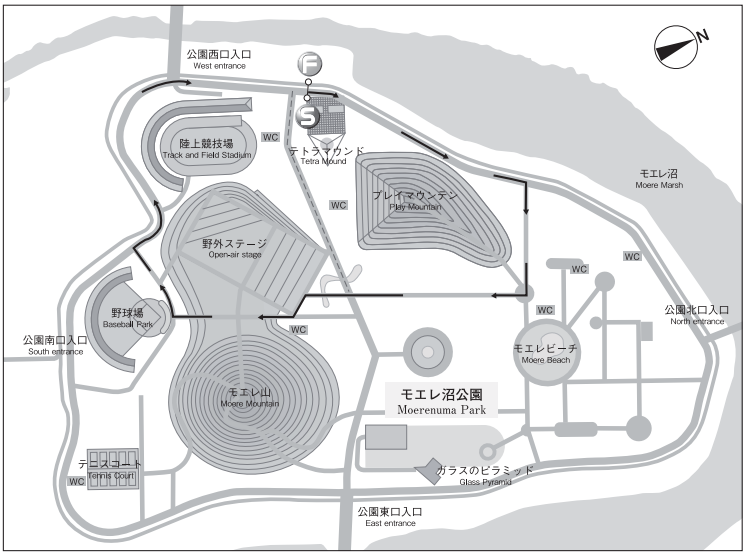
■クリテリウム
Criterium

9/17〔mon〕 札幌市

・札幌市モエレ沼公園周回コース……1周2.2Km
150m、2.2Km、4.4Km、6.6Km
11Km（2.2Km×5周）、22Km（2.2Km×10周）
33Km（2.2Km×15周）

歓迎の挨拶、スターターは、
大島研一 財団法人日本自転車競技連盟会長代行

■コース図



成績一覧

●1クラス JCF登録 エリート

順位	ナンバー	氏名	都道府県	タイム
1	25	中村 龍太郎	長野県	0:47:45
2	23	斉藤 敦	東京都	0:47:45
3	24	青木 峻二	千葉県	0:47:45

●2クラス/上級 S-2

1	114	鶴岡 聖隆	千葉県	0:49:12
2	110	猪又 靖	北海道	0:49:12
3	132	清水 乾	北海道	0:49:15

●3クラス/中級 S-3

1	234	野呂 武志	北海道	0:33:05
2	211	加藤 明豊	愛知県	0:33:06
3	209	芦沢 右史	北海道	0:33:16

●4クラス/40歳未満 S-4

1	524	橋本 幸久	北海道	0:34:14
2	404	磯部 悟	北海道	0:34:48
3	435	森田 祐次郎	北海道	0:34:49

●5クラス/55歳未満 S-5

1	613	竹脇 睦	北海道	0:17:08
2	608	佐々木 章人	北海道	0:17:12
3	604	臼澤 孝史	兵庫県	0:17:50

●6クラス/55歳以上 M

1	803	荒生 純一	千葉県	0:17:48
2	820	滝口 勇二	北海道	0:17:49
3	811	田中 朗	北海道	0:18:09

●7クラス/一般女子 L

1	1003	米田 和美	北海道	0:17:07
2	1010	橋本 佳苗	北海道	0:17:58
3	1004	孫崎 虹奈	大阪府	0:18:33

●8クラス/高校男子 J

1	904	河津 賢人	熊本県	0:49:12
2	906	西尾 憲人	北海道	0:49:12
3	902	孫崎 大樹	大阪府	0:49:14

●8-1クラス/高校女子

1	951	池田 ゆめこ	北海道	0:17:51

●9クラス/中学男子 C-1

1	1104	中川 拳	北海道	0:17:06
2	1103	奥場 勝利	北海道	0:17:06
3	1107	竹村 拓	大阪府	0:17:08

●10クラス/中学女子 CL

1	1201	Madaffari Nicole	北海道	0:20:42

●11クラス/小学5・6年 C-2

1	1307	榎木 涼雅	北海道	0:11:14
2	1304	木綿 宏太	北海道	0:11:14
3	1309	中島 悠登	北海道	0:11:15

●12クラス/小学3・4年 C-3

1	1401	中谷 研斗	北海道	0:08:23
2	1403	木綿 啓太	北海道	0:08:23
3	1404	後藤 瞬良	北海道	0:28:27

●13クラス/小学1・2年 C-4

1	1503	中田 空	北海道	0:04:36
2	1514	津田 颯	北海道	0:04:40
3	1504	山田 祐輝	北海道	0:04:41

●14クラス/幼児

1	1614	木綿 俊介	北海道	0:00:22
2	1609	木村 光尋	北海道	0:00:25
3	1608	佐藤 鵬仁	北海道	0:00:25

ツール・ド・北海道２０１２　実行委員会名簿

実行委員長	勇崎 恒也	(財)ツール･ド･北海道協会常務理事
実行副委員長	穴田 勝彦	(財)日本自転車競技連盟参与
実行副委員長	小野 盛秀	北海道自転車競技連盟理事長

	委員		幹事	
●各団体				
北海道自転車競技連盟			副理事長	鎌田 利道
北海道自転車軽自動車商業協同組合	理事長	奥野 誠	副理事長	高橋 嘉弘
			副理事長	服部 好泰
北海道自転車協会	会長	武田 雅裕		
北海道サイクリング協会	会長代行	小川 魁	理事長	近田 俊夫
特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会	代表理事	浜島 泉	理事	清野 守
(財)北海道交通安全協会	専務理事	北森 繁	企画推進部長	新谷 惠司
公益財団法人北海道体育協会	専務理事	白髭 俊穂		
(社)北海道観光振興機構	専務理事	北山 憲武		
●国土交通省　北海道開発局				
	建設部長	佐藤 謙二	開発調整課長	渋谷 元
	開発監理部次長	川崎 博巳	開発調整課長補佐	巖倉 啓子
			建設行政課長	伴 政道
			河川計画課長	原 俊哉
			道路計画課長	和泉 晶裕
			道路建設課長	柳屋 勝彦
			道路維持課長	柳原 優登
			港湾計画課長	真田 仁
	(札幌開発建設部)		次長(総務担当)	角地 泰英
			次長(道路･空港･公園担当)	谷村 昌史
	(旭川開発建設部)		次長(総務担当)	吉岡 輝彦
			次長(河川･道路担当)	幡本 篤
●北 海 道				
	環境生活部長	伊藤 邦宏	文化･スポーツ課長	佐藤 哲夫
			総合政策部知事室広報広聴課長	野村 聡
			建設部土木局道路課長	佐野 修
	(空知総合振興局)		副局長	林 信男
			札幌建設管理部地域調整課長	谷山 剛
	(石狩振興局)		副局長	辺見 広幸
	(上川総合振興局)		副局長	巻口 公治
			旭川建設管理部 地域調整課長	橋本 好昭
●市町				
札幌市	スポーツ部長	高橋 順一	企画事業課長	石川 義浩
旭川市	社会教育部長	河合 伸子	社会教育部次長	畑 薫
鷹栖町	副町長	鹿野 正巳	総務企画課長	松島 貢
幌加内町	副町長	南谷 幸夫	地域振興室長	清原 吉典
和寒町	副町長	安孫子 敏己	産業振興課長	保土澤 澄夫
剣淵町	副町長	清水 幸喜	総務課長	早坂 純夫
士別市	総務部長	鈴木 久典	企画振興室長	大崎 良夫
愛別町	副町長	鈴木 彰	教育次長	中井 一夫
比布町	副町長	植村 勇	総務企画課長	宮武 秀夫
当麻町	副町長	遠藤 憲彦	総務企画課長	澤田 和久
美瑛町	副町長	塚田 聡仁	商工観光課長	後路 宜伸
東川町	副町長	合田 博	地域活性課長	杉山 昌次
東神楽町	副町長	西山 満	社会教育課長	鳥毛 昭士
上富良野町	教育長	北川 雅一	教育振興課長	服部 久和
中富良野町	教育長	松藤 藤吉	教育課長	池田 豊
芦別市	教育長	松山 良一	体育振興係長	本村 慎次
赤平市	教育長	渡邊 敏雄	社会教育課長	吉村 春義
砂川市	教育次長	森下 敏彦	スポーツ振興課課長補佐	角丸 章
滝川市	教育部次長	河野 敏昭	社会教育課長	竹谷 和徳
新十津川町	副町長	佐川 純	教育次長	加藤 健次
当別町	副町長	近藤 充徳	社会教育課長	中谷 茂実
石狩市	保健福祉部健康推進室長	藤田 隆	スポーツ健康課長	松儀 倫也

ツール・ド・北海道２０１２　後援・協力・協賛一覧

●後援

国土交通省

文部科学省

経済産業省

北海道

財団法人JKA

北海道市長会

北海道町村会

公益財団法人日本体育協会

公益財団法人日本オリンピック委員会

NHK札幌放送局

北海道テレビ放送株式会社

一般財団法人日本自転車普及協会

一般社団法人自転車協会

北海道経済連合会

社団法人北海道商工会議所連合会

社団法人北海道観光振興機構

一般社団法人北海道建設業協会

一般社団法人北海道舗装事業協会

一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部

北海道アスファルト合材協会

社団法人北海道バス協会

社団法人北海道トラック協会

●特別協力

株式会社北海道新聞社

●協力

北海道開発局、北海道経済産業局

旭川市、鷹栖町、幌加内町、和寒町、剣淵町、士別市

愛別町、比布町、当麻町、東川町、東神楽町、美瑛町

上富良野町、中富良野町、芦別市、赤平市、砂川市

滝川市、新十津川町、当別町、石狩市、札幌市

公益財団法人北海道体育協会

財団法人北海道交通安全協会

北海道自転車競技連盟

北海道自転車軽自動車商業協同組合

北海道自転車協会

北海道サイクリング協会

特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会

●特別協賛

株式会社NIPPO

株式会社ロイズコンフェクト

ホクレン農業協同組合連合会

富士重工業株式会社

●協賛各社

株式会社シマノ

株式会社パールイズミ

パナソニックサイクルテック株式会社

ブリヂストンサイクル株式会社

株式会社JTB北海道

株式会社損害保険ジャパン

サッポロビール株式会社

株式会社ローソン

株式会社マトリックス

株式会社阿部商会

株式会社日直商会

井上ゴム工業株式会社

株式会社丸ヨ池内

マルスイ冷蔵株式会社

株式会社田宮設計事務所

株式会社富士建設コンサル

宮脇大木建設株式会社

宮永建設株式会社

株式会社開発工営社

ツール・ド・北海道2012 賛助会員名簿

●法人

一般社団法人 旭川建設業協会
網走建設業協会
一般財団法人 石狩川振興財団
小樽建設協会
帯広建設業協会
社団法人 寒地港湾技術研究センター
釧路建設業協会
財団法人 港湾空港建設技術サービスセンター北海道支部
一般社団法人 札幌建設業協会
札幌自転車競技連盟
一般社団法人 空知建設業協会
一般社団法人 函館建設業協会
一般社団法人 北海道開発技術センター
一般財団法人 北海道開発協会
一般財団法人 北海道河川財団
財団法人 北海道コンクリート技術センター
北海道自転車軽自動車商業協同組合
社団法人 北海道商工会議所連合会
一般社団法人 北海道測量設計業協会
一般財団法人 北海道道路管理技術センター
一般社団法人 北海道土地改良建設協会
一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会
社団法人 北海道トラック協会
一般社団法人 室蘭建設業協会
留萌建設協会
稚内建設協会

赤川建設興業株式会社
秋津道路株式会社
旭イノベックス株式会社
株式会社アサヒ建設コンサルタント
あすなろ道路株式会社
綾羽株式会社
荒井建設株式会社
株式会社生駒組
勇建設株式会社
株式会社 石山組
株式会社伊藤組
伊藤組土建 株式会社
株式会社伊藤工業
岩倉建設株式会社
岩田地崎建設株式会社
株式会社エーティック
SMBC日興証券株式会社 第二公益法人部
株式会社園 建
応用地質株式会社 札幌支社
大江建設株式会社
株式会社大林組 札幌支店
大林道路株式会社 北海道支店
株式会社ガイアートT・K 北海道支店
株式会社開発工営社
鹿島道路株式会社 北海道営業所
片山ストラテック株式会社 北海道営業所
株木建設株式会社 札幌支店
鎌田輪業有限会社
機械開発北旺株式会社
株式会社岸田組
岸本産業株式会社
北電力設備工事株式会社
北日本港湾コンサルタント株式会社
協和八光建設株式会社
株式会社近代設計 札幌支社
草野作工株式会社
株式会社構研エンジニアリング
国策建設株式会社
有限会社サイクル小野サッポロ
札建工業株式会社
札幌建設運送株式会社
三共電気工業株式会社
株式会社サン広告社
三和航測株式会社 北海道支社
JX日鉱日石トレーディング株式会社
JFE条鋼株式会社豊平製造所
しずお建設株式会社
清水建設株式会社 北海道支店
株式会社シン技術コンサル
新太平洋建設株式会社
新島工業株式会社
新谷建設株式会社
杉原建設株式会社
世紀東急工業株式会社 北海道支店
株式会社総北海 札幌支社
大成ロテック株式会社 北海道支社
大地コンサルタント株式会社
大同舗道株式会社
大北土建工業株式会社
株式会社ダイヤコンサルタント北海道支社
株式会社 田中組
株式会社田中工業
株式会社 谷脇組
株式会社ダブルス
株式会社 玉川組
株式会社田宮設計事務所
株式会社 丹野組
地崎道路株式会社 北海道支店
中央コンサルタンツ株式会社 札幌支店
株式会社長大 札幌支社
株式会社通電技術
ツバメ工業株式会社
鉄建建設株式会社 札幌支店
電通設備株式会社
東亜道路工業株式会社 北海道支社
株式会社東京鐵骨橋梁 北海道支店
道興加茂株式会社
東光舗道株式会社
株式会社道南土木
株式会社東洋実業
道路建設株式会社
道路工業株式会社
株式会社ドーコン
ドーピー建設工業株式会社 北海道支店
戸田建設株式会社 札幌支店
戸田道路株式会社 札幌営業所
飛島建設株式会社 札幌支店
株式会社ドボク管理
株式会社土木技術コンサルタント
中道リース株式会社
株式会社 中山組
西松建設株式会社 札幌支店
株式会社日栄建設
日測技研株式会社
株式会社日鉄エレックス 室蘭支店
日本高圧コンクリート株式会社
日本工営株式会社 札幌支店
日本データーサービス株式会社
日本電設工業株式会社 北海道支店
日本道路株式会社 北海道支店
株式会社 間組 札幌支店
橋場建設株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社橋本川島コーポレーション
株式会社パスコ 札幌支店
株式会社八州 北海道支社
花本建設株式会社
パブリックコンサルタント株式会社
東日本道路株式会社
日立物流ダイレックス株式会社
株式会社廣野組
冨士新舗道株式会社
株式会社不動テトラ 北海道支店
株式会社北英建設
北央道路工業株式会社
北斗徽章株式会社
北土建設株式会社
北都道路株式会社
株式会社北開水工コンサルタント
北海道空港株式会社
株式会社北海道新聞社
北海道電力株式会社
北海道道路エンジニアリング株式会社
北海道ロードメンテナンス株式会社
前田建設工業株式会社 北海道支店
前田道路株式会社 北海道支店
丸建道路株式会社 札幌支店
丸駒建設株式会社
丸彦渡辺建設株式会社
三井住建道路株式会社 北海道支店
三井造船株式会社 北海道支社
三津橋建設株式会社
宮永建設株式会社
村井建設 株式会社
株式会社盛永組
株式会社森本商会
株式会社 山田組
山田塗装株式会社 札幌支店
株式会社山伏パコム
山本電子工業株式会社
株式会社ユアテック 北海道支社

●個人

阿部　芳昭
牛島　元嗣
栗生　賢一
清崎　晶雄
千葉　　修
恒松　　浩
東岱　庄一
松尾　徹郎
渡辺　総悦

●発行／財団法人ツール・ド・北海道協会　●発行日／平成24年10月25日